

# 呉市教育委員会会議録

(令和6年8月23日臨時会)

呉市教育委員会

呉市教育委員会会議録  
令和6年8月23日臨時会

1 開催日時 令和6年8月23日（金） 10：00開会  
16：45閉会

2 開催場所 754会議室（呉市役所7階）

3 出席委員 教育長 寺本有伸  
教育長職務代理者 佐々木元  
委員 吉中由美子  
委員 大之木小兵衛  
欠席委員 委員 辻佑子

4 出席職員 教育部長 石川直之  
教育部副部長 伊藤賀世  
教育総務課長 新本康司  
学校教育課長 木屋善貴  
学校安全課長 田村峠平  
教育総務課課長補佐 橋本優子  
学校教育課課長補佐 藤井眞實  
学校安全課課長補佐 河野靖弘  
学校教育課主査 本谷彰弘

5 説明員 小田浩（呉高等学校校長），坂井峰子（警固屋中学校校長），三谷泉（蒲刈中学校校長），高野辰彦（安浦中学校校長），浮田秀樹（昭和中学校校長），荒本礼二（倉橋中学校校長），小林浩樹（和庄中学校校長），白井良枝（川尻中学校校長），工藤孝之（両城中学校校長），松田光弘（広中央中学校校長），小方幸恵（東畠中学校校長），坂田恭一（呉中央中学校校長），子川眞二（横路中学校校長）

6 傍聴者 27人

7 日程

- (1) 会期決定について
- (2) 前回会議の報告
- (3) 教議第45号 令和7年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について
- (4) 教議第46号 令和7年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について
- (5) 教議第47号 令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））の採択について

(10:00)

教 育 長 それでは、委員の2分の1以上の出席をいただいているので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、これより臨時会を開会します。

本日、辻委員から欠席の届出がなされておりますことを、御報告します。

日程第1の「会期決定について」を議題とします。

お諮りします。会期は、本日1日としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしと認めます。

よって会期は、本日1日と決定されました。

本日の会議録署名委員は、吉中委員・大之木委員にお願いいたします。

それでは、日程第2の「前回会議の報告」を求めます。

(令和6年8月21日定例会について報告)

教 育 長 本日提出された各議題の教科用図書の採択につきましては、今年度も、透明性の確保に重きを置いて公開としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、本日の議題についてはそのように決定されました。

#### 教議第45号 令和7年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について

教 育 長 これより、日程第3の教議第45号「令和7年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について」を議題とします。

採択に入る前に、選定委員会の代表である呉高等学校長から総括説明を求めます。

小 田 校 長 教議第45号「令和7年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について」御説明いたします。

まず、呉高等学校の教育課程等について簡単に御説明いたします。

呉高等学校は総合学科で、進学から就職まで様々な進路希望を持った生徒が入学してきます。この多様な進路希望に対応するために、生徒自らが学びをデザインできる教育課程を編成しています。

お配りしております令和6年度学校案内をお開きください。「令和6年度入学 生教育課程表」を御説明いたします。1年次では、音楽、美術、書道の芸術選択科目以外は全員が共通の科目を履修し、2年次からは選択科目が入ってまいります。ページ中央には、系列と主な選択科目を示しております。

このように、幅広く用意された選択科目から、生徒一人一人が進路希望に応じた科目を選択し、自らが学びをデザインしながら、進路実現を図ることができるところに、総合学科である本校の特徴があります。

続いて、今年度の採択の方針について、簡単に御説明いたします。

ホッチキスでとじております教議第45号の資料を御覧ください。

1ページには「呉市教科用図書の採択に関する規程」、3ページには「令和7

年度に呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について」，4ページには「呉市立呉高等学校教科用図書の採択に関する要綱」，5ページには「教科用図書採択の手順【呉高等学校】」をお示ししております。

資料の6ページを御覧ください。「令和7年度使用高等学校用教科書の種類数・点数一覧」でございます。

呉高等学校の教科書選定に当たりましては、全ての学年が第1部の教科書から選定を行っております。

8ページを御覧ください。今年度の選定委員会等についてまとめたものでございます。選定委員会は、校長、教頭、事務長の計3名で構成し、4にありますとおり選定委員会を2回開催いたしました。この会は教育委員の方々にも傍聴していただきました。

それでは、教議第45号の表紙をめくった最初のページを御覧ください。このページと次のページにかけてお示ししておりますものが、選定委員会が選定した教科用図書の一覧でございます。本日は、これらの教科書について一括して採択していただきたいと存じます。

総括説明は、以上でございます。

教 育 長 総括説明について、御質問がありましたらお願ひいたします。

(なしの声)

教 育 長 それでは、先ほどの総括説明を受けまして、呉高等学校で令和7年度に使用する教科用図書につきましては、一括して採択することにしたいと思います。

これに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、呉高等学校で令和7年度に使用する教科用図書につきましては、一括して採択することに決定されました。

それでは、呉高等学校長の説明を求めます。

小 田 校 長 それでは、9ページからの「令和7年度使用教科用図書選定理由書」を基に、選定した教科書の特徴について御説明いたします。

一番右の欄、選定理由は、選定する教科書がどのような特色があるのか、教科・科目の目標の達成に向けて、自校の生徒の実態を踏まえ、その教科書が適切であるかという視点から記述しています。

全部で、54種ございます。

今年度より全ての学年が新教育課程となっております。今回、選定した教科書について、全てを説明することは、時間の関係でできませんので、新たに選定する3年次の1科目、昨年度より使用している2・3年次の1科目及び3年次の1科目について説明させていただきます。一つ目は資料9ページの三つ目にある「論理国語」、二つ目は資料12ページの三つ目と四つ目にあります「数学C」、三つ目は資料14ページの三つ目にあります「音楽III」になります。各テーブルに1種類ずつ置かせていただいておりますので、説明する教科書や画面を御覧になってお聞きください。

では、一つずつ御説明します。まず、「論理国語」について、第一学習社の「高等学校 標準論理国語」を選定しました。こちらは、昨年度より2・3年次にわたって使用しております。

画面、又は、教科書の目次のページを御覧ください。この教科書の優れた点は、このように親しみやすいテーマの教材が充実している点です。科学、地歴、言語、東西文化比較、社会学など、様々な分野のテーマが評論教材となり、段階的に配列しているので、生徒が取り組みやすくなっています。また、新しい入試や新しい学び、観点別評価への対応がなされており、特に、目次のページの「生活の中の表現」と「生活と自然」のように、大学入学共通テスト等で出題が増えている複数資料の「読み比べ」を扱う単元の設定や、次のページには「小論文を書く」単元があり、小論文入試対策も可能なつくりになっています。さらに、教科書8・9ページにありますように、理解編と、教科書10ページ、表現編に分かれています。表現編の言語活動では、レポートや小論文を書く等、実生活で生きて働く言語能力を身に付けられるものになっているので、2年次、3年次と続けて学習する教材として適しています。加えて、教科書225ページにありますように、「論理研究」として「推論」「帰納法」に関する知識を学べる教材が配置され、既習事項を発展的に理解できるように工夫されています。

以下、先ほど説明いたしました内容について、教科書6ページから10ページにも、詳しく、教科書の構成と使い方について、示されております。また、目次の最後のページに戻っていただきますと、資料編の項目のところに、QRコードが付いております。

(コンテンツを選び、動画等を映し出す。)

読み込みますと、このような画面が映し出されます。

以上のように、生徒に興味関心を持たせ、新しい学びに対応している本教科書を選定しました。

二つ目は、資料12ページの三つ目と四つ目になります「数学C」です。3年次の選択科目です。画面に教科書2冊、表紙を映しております。教研出版の「高等学校 数学C」及び「新編 数学C」を選定しました。数学Cは新教育課程で新たに設置された科目で、旧課程の数学III及び数学Bの内容の一部で構成されており、大学進学に数学ⅡB Cが必要な生徒が対象となっています。

こちらの「高等学校 数学C」は「数学III」を履修している理系生徒対象で、「新編 数学C」は「数学ⅡB 演習」を選択している、主に文系生徒対象の教科書です。まず、理系生徒が使用する「高等学校 数学C」は、画面にもありますが、教科書9ページにあるように、基本的な内容の例題に加え、やや発展的な応用例題、教科書28ページにあるように、更に深い学びのための研究、発展も適宜挿入されています。教科書30ページの6の問題を例として、御覧ください。この問題は、表現力・判断力・思考力を問う問題になっております。また、178ページからの総合問題には、日常や社会の事象を題材にした問題を掲載しております。主体的に取り組める課題学習等もあり、さらに、教科書29ページにあるように、理科の科目との横断的な内容の理解促進が可能である「コラム」の掲載も理系の生徒にとって非常に役に立つものになっています。また、QRコードも充実しており、例えば教科書135ページにあるように、円が定直線状を滑ることなく回転していく時に描かれる曲線を「サイクロイド」といいますが、それがどのようにして描かれるのかをQRコードから確認することができます。画面に動画を映し出しますので御覧ください。

(動画を映す。)

このように、難解な事象を、動画等で具体的に理解しやすくなるよう、工夫がされています。

続いて、文系生徒が使用する「新編 数学C」は、ページ番号がないのですが、教科書7ページにあるように、基本的な内容の例題はもちろん、各章のはじめにウォームアップが加えられ、教科書116ページにあるように、「Point」でこれまでの学習のつながりを理解し、振り返りをすることで定着を図る工夫が見られます。「高等学校 数学C」よりも7ページ少ないとことから、内容的にも絞っており、学習しやすくなっています。また、教科書66ページにあるように、思考力等を問う問題や、教科書47ページのように、他の単元とのつながりも分かるコラム等も充実しており、学習意欲を喚起する教材も掲載されているので、意欲的に発展的な内容を求める生徒にも十分対応できるつくりとなっています。

以上のことから、本校の多様な進路希望の生徒に対応し、様々な問題を掲載している本教科書を選定しました。

三つ目は、資料15ページの三つ目になります「音楽III」です。教育芸術社の「Joy of Music」を選定しました。来年度、初めて3年次で開講予定の科目です。教科書はこちらになります。

(表紙を画面に映す。)

1・2年次で学習する「音楽I」「音楽II」では「音楽って何だろう?」という問い合わせに対して思考・判断・表現できるように構成されていましたが、表紙の裏、見開き、2・3ページを御覧ください。「音楽III」ではより専門的な内容を学習することにより思考・判断・表現できるように構成されていることから、幅広い音楽のジャンルを扱っていることが分かります。表現領域・鑑賞領域とともに、様々な進路に適応できるように幅広いジャンルから楽曲選択されており、数も豊富で、音楽の幅広い知識・技能についてより高い水準で学ぶのに適した教科書と言えます。学習プロセスの明確な提示があり、写真や図、挿絵が豊富で、配置も効果的です。また、次の4・5ページにあるように、QRコードも充実しております。画面を御覧ください。

(動画を流す。)

このような動画等を活用することで、生徒の興味関心を高め、主体的・対話的な学びができるように工夫されています。

内容に関して具体的に述べますと、教科書12ページには「ソルフェージュ」、36ページには「ピアノ伴奏」の楽譜が掲載され、88ページには「楽曲の創作活動」、92ページからは、幅広い「西洋音楽の鑑賞」等、音楽Iや音楽IIにはなかった、より専門的な内容を学習できるようになっています。より音楽を深く学習したい生徒にとって、これまでの学びと新たに習得した知識や感受したことを生かして表現領域・鑑賞領域の各領域を横断的かつ継続的に学習し、音楽文化と関わる資質・能力を深化させることができる教科書となっています。

以上のことから、多様な進路希望や学習意欲を持つ生徒に対応した教科書となっており、本教科書を選定しました。

説明については、以上です。

以上、三つの科目を例として御説明いたしましたが、それ以外の科目につきま

しても、同様の視点で調査・研究し、使用することが適切であると判断したものでございます。

それでは、しばらく時間をとりますので、教科書を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長

ただいま、特徴のある三つの教科用図書について説明がありました。

また、先ほど説明がありましたとおり、全ての教科用図書の選定理由書もありますので、これから審議に入りたいと思いますが、御質問がありましたらお願ひいたします。

佐々木委員

国語の論理国語について、「『推論』『帰納法』に関する知識を学べる教材が配置されている」と説明がありました。推論や帰納法と聞くと、聞き慣れない、いかにも難しそうな、という印象がありますが、どういった教材なのか教えてください。

小 田 校 長

教科書226ページを御覧ください。まず、推論とは何か、帰納法とは何か、について漫画形式で分かりやすく示されています。次に、230ページで推論についてより詳しく、また、232ページで帰納法についてより詳しく学ぶ教材が配置されています。そして、最後に238ページで、学んだことをまとめるようにになっています。確かに、推論や帰納法というと難しいイメージがありますが、こうした工夫によって、生徒の理解を促すことにつながります。

佐々木委員

この教科書は、先ほどの説明でも「親しみやすいテーマ」や「生徒が取り組みやすい」ということでしたが、難しいテーマでも、生徒にとって分かりやすく工夫されていることが分かりました。

大之木委員

数学について、数学Cの教科書が文系・理系用とあるのですが、文系も数学Cを学習するということですか。

小 田 校 長

先ほども説明したように、新課程では、数学Cは旧課程の数学IIIと数学Bの内容が一部入っております。例えば、新編数学Cの目次を見てください。第1章、第2章に「ベクトル」の単元がありますが、これは旧課程では数学ⅡBの内容だったものです。数学Bの内容が、一部数学Cに入っています。第2学年で数学ⅡBを選択した文系生徒は、第3学年では数学Cを受講します。本校では、現在の第3学年の中で大学進学を目指している40名程度の文系の生徒が、既に数学Cを履修しております。

大之木委員

数学Cというと、我々にとってはなんとなく、理系の生徒さんが学習するものと思いがちですが、内容がBの部分が入ってきたということで、文系の生徒にも必要になったということで理解しました。

数学Cなどは大変難しそうですが、教科書の内容の中に、高校生が意欲的に学ぶための工夫などはあるのでしょうか。

小 田 校 長

高等学校の数学なので、より学問的要素が強くなっていますが、新編数学Cの教科書の巻頭には、先ほど御説明したベクトルについて、風の強さと方向、あるいは、吊り橋に働く力等はベクトルで表現することができる、ということや、望遠鏡の原理に二次曲線を回転させた形が使われていることなどが示されており、私たちの生活の見えない部分で数学が役に立っていることの紹介がしてあります。

また、自分で学習を進めるための工夫として、これも先ほど紹介した二次元コ

ードを活用することにより動画で図表が示されており、自分で考える助けとなっています。

さらに、同じく新編数学Cの教科書16ページを御覧ください。ここには、難しい応用例題が掲載されておりますが、「考え方」という項目を設け、問題を解く手掛けりを示していることも本書の特徴の一つです。これらは、理系用の高等学校数学Cの教科書にも同じく掲載されております。このようにして、自分で学習を進めていくための手立てが十分になされていると考えます。

大之木委員　　日常生活の場面と結び付けて考えたり、二次元コードで要所、要所を助けてくれて、少しでも分かりやすくなっているということで理解いたしました。

吉中委員　　音楽の教科書について質問します。選定した教科書は幅広いジャンルから楽曲選択されているとの説明でしたが、その内容について具体的に教えてください。

小田校長　　教科書を使って御説明します。表紙をめくっていただき、さらにもう1ページ進めさせていただきますと、「CONTENTS」のページになります。ページの下段、「ジャンル別MAP」を御覧ください。「歌曲」や「ポピュラー・ソング」「和楽器」など様々なジャンルの歌唱、器楽が取り上げられていることが分かります。

このような専門性の高い音楽の授業について、本校の吹奏楽部に所属している生徒の中に、高い関心と興味を持った生徒や、実際に専門的に勉強したいと思っている生徒もおります。また、将来保育士を目指している生徒も、ピアノ等を専門的にやりたい、という前向きな気持ちを持っています。様々な生徒が、勉強したい、という科目を履修できるのが、総合学科である呉高校の強みですので、本教科書を使って音楽Ⅲを開講し、音楽を専門的に勉強したいと思っている生徒のニーズに応えることができると考えます。

吉中委員　　高校生ともなると、好きな音楽のジャンルも大体決まっている生徒も多いのではないかと思います。この教科書のように、音楽の時間に幅広いジャンルの音楽に触れることで、興味関心の幅を広げるきっかけになったらいいなと思います。

ここまで選定委員の説明を聞きまして、呉高校の生徒の実態に合ったものを選ばれていることがよく分かりました。選定理由書に記載されたとおりの教科書を採択するということでおいのではないかと思います。

教育長　　ほかに御発言はありませんか。

(なしの声)

教育長　　御発言なしということで、呉高等学校で令和7年度に使用する教科用図書は、原案のとおり採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長　　御異議なしということで、よって、呉高等学校で令和7年度に使用する教科用図書は、原案どおり採択することに決定されました。

説明員が交代いたします。

#### 教議第46号 令和7年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について

教育長　　それでは、日程第4の教議第46号「令和7年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について」を議題とします。

採択に入る前に、事務局から総括説明を求めます。

田 村 課 長 教議第46号「令和7年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について」御説明いたします。

特別な教育課程を編成している特別支援学級では、児童生徒の実態に合わせ、適切な教科用図書を、毎年、採択することとなっております。

採択基準につきましては、資料1を御覧ください。

2ページの2の方法、組織及び手続の(3)アにありますように、「文部科学大臣の検定を経た教科用図書」「文部科学省著作教科用図書」及び「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書」の3種類の中から採択することとなっております。

まず、この3種類の教科用図書について御説明いたします。

一つ目は、「文部科学大臣の検定を経た教科用図書」でございます。これは「検定済教科用図書」ともいいます。

特別支援学級では、教科用図書として、まず当該学年の「検定済教科用図書」が適當かどうかを児童生徒の実態から審議し、適當でないときは、下学年用「検定済教科用図書」について審議いたします。

二つ目は、「文部科学省著作教科用図書」でございます。これは、知的障害の特別支援学校用の教科用図書で、「著作教科用図書」と呼んでおります。また、星印が付いていることから、「星本」とも呼んでおります。

資料2を御覧ください。この「著作教科用図書」は、小学部は生活、国語、算数、音楽が発行されております。中学部は、これまで国語、算数・数学、音楽についてのみ発行されておりましたが、この度の採択から社会、理科、職業・家庭が発行されております。発行元は、算数・数学が教育出版社、それ以外が東京書籍です。

1から76ページに、特別支援学校学習指導要領に記載されている生活科、国語科、算数科・数学科、音楽科、社会科、理科、職業・家庭科の各目標と内容を段階ごとに示しており、星の数は、その段階を表しております。星の数が増えるほど、学習内容は難しくなります。

先ほどの「検定済教科用図書」が適當でないときに、実際の「著作教科用図書」を参考にし、児童生徒の実態に合ったものを選定しております。

お手元に、黄色の付箋を付けた「著作教科用図書」を2冊用意しております。しばらく御覧ください。

（しばらく時間をとる。）

田 村 課 長 三つ目は、「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書」でございます。これを「一般図書」と呼んでおります。資料3を御覧ください。

もともとは、教科書として作成されたものではない図書がほとんどですが、児童生徒の実態によっては、教科書の役割を果たすものとして認められた教科用図書でございます。

1ページから76ページまで、「令和6年度用一般図書契約予定一覧」を載せております。

児童生徒の実態から、「検定済教科用図書」及び「著作教科用図書」が適當でない場合に、この「一般図書」を選定することとなります。

なお、昨年度まで生活の「一般図書」は学年ごとに選定冊数が決められていま

したが、令和7年度以降に使用する「一般図書」は、全学年1種類1冊と変更されています。

お手元に、黄緑色の付箋を付けた「一般図書」を2冊用意しております。しばらく御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

田 村 課 長 以上3種類の教科用図書のうち、いずれか1種類を教科ごとに使用することとなっております。

選定に当たりましては、資料1の3ページに載せております手順に従い、学校ごとに選定理由を慎重に審議し、5ページから8ページに載せております様式により提出させております。

本日は、学校から提出された特別支援学級に在籍する児童生徒の教科用図書のうち、「文部科学省著作教科用図書」及び「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書」について、一括して採択していただきたいと存じます。

よろしくお願ひいたします。

教 育 長 それでは、ただいまの総括説明を受けまして、呉市立義務教育諸学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、一括して採択することにしたいと思います。これに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、呉市立義務教育諸学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、一括して採択することに決定されました。

それでは、事務局の説明を求めます。

田 村 課 長 各小・中・義務教育学校が選定した教科用図書「文部科学省著作教科用図書」及び「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書」につきましては、教議第46号「令和7年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について」にありますように、1に「文部科学省著作教科用図書」を示し、次の2に「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書（一般図書）について」を一覧表にして示しております。

一覧表は、「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書（一般図書）」について、左から、教科名・種目名、発行者の略称、図書名の順にまとめおり、(1)が小学校・義務教育学校前期課程、2枚めくっていただいた(2)が中学校・義務教育学校後期課程となっております。

それでは、選定の詳細について、資料4の1ページを御覧ください。小学校知的障害特別支援学級第4学年の児童の選定理由書を例に、御説明いたします。

まず、音楽及び図画工作は「検定済教科用図書」を選定しております。

次に、国語、算数、生活は「著作教科用図書」の星三つを選定しております。

体育（保健）、道徳につきましては、「一般図書」から選定しております。これらの「一般図書」は、いずれも資料3にございます、「令和6年度用一般図書契約予定一覧」の中から選定しております。

それぞれ選定理由を表の右側に示し、報告を受けております。

以上のように、児童生徒が使用する教科用図書につきましては、「検定済教科用図書」「著作教科用図書」「一般図書」の中から、児童生徒の実態に応じて、適切に選定しております。

御審議のほど、よろしくお願ひいたします。

教 育 長

これについて、御質問がありましたらお願ひいたします。

佐々木委員

昨年度は、小学校の生活科で著作教科用図書が発行され、今年度は中学校の社会科、理科、職業・家庭科で著作教科用図書が新しく発行されると説明がありました。著作教科用図書の良さや特徴について、もう少し教えてください。

田 村 課 長

著作教科用図書には、特別支援学校学習指導要領に示されている学習内容が、幅広く網羅されています。

その良さを説明させていただくに当たり、実際に教科書を見ていただきたいと思います。

生活科の星本1、星本2に付箋で印を付けたページを御覧ください。

知的障害のある子供は、必要な視覚情報に注目することが難しい特性があります。生活科では、写真ではなく、イラストで題材を示しています。イラストの場合、余計な情報が排除され、学ぶ内容がはっきりと分かるようになっています。

次に、画像で紹介させていただきます。

(画面に映す。)

こちらは星本の理科になりますが、知的障害のある子供は、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場で応用しにくい特性があります。この理科においては、磁石の学習で、冷蔵庫のドアに紙を貼るマグネットや、アルミとスチールの缶を分別する空き缶回収機に磁石が使われていること、太陽の光を学習する際、身の回りで感じができる太陽の光等、学んだことを日常生活に生かすことができるよう、随所に理科的事象に結び付いた生活上の内容が掲載されています。

最後にもう一点、紹介させていただきますが、先ほど手に取って見ていただいた生活科の星本と理科や社会科の星本を重ねていただきますと、理科や社会科の方が、横幅が広くなっています、A B版の仕様となっております。理科や社会科は、視覚的に分かりやすくするように写真を多く使用することから、横幅を少し長くしたA B判の仕様とするなどの工夫もされています。

3点説明させていただきましたが、著作教科用図書は、知的障害のある児童生徒の学習上の特性を配慮して作成されております。

大之木委員

今の説明から、著作教科用図書の良さについて、よく分かりました。著作教科用図書を選定した学校や児童生徒は、どのくらいいるのですか。

田 村 課 長

令和7年度使用教科用図書につきましては、小学校・義務教育学校前期課程のうち6校10名分について、中学校・義務教育学校後期課程のうち6校12名分について、選定しております。

大之木委員

分かりました。著作教科用図書は、生活に根ざした学習をすることができるような内容が幅広く取り扱われており、充実しているなという印象を受けました。今後、著作教科用図書については、先生方にこれまで以上に御理解いただく必要があると思います。

子共たちの実態に合わせて選択肢の一つとなっていくことに期待したいと思います。

吉 中 委 員

特別支援学級の教科用図書は、毎年、基本方針にのっとり、適正に選定されていると思っています。

本日、説明を聞いたり、教科用図書を見たりする中で、各学校の先生方が児童生徒の障害の状態や特性等に合わせて、丁寧に審議されていることが確認できましたので、このように採択してよいと思います。

今後も、一人一人に合わせて採択された教科用図書をしっかりと使って、子供たちの実態に合わせた学習をお願いします。

教 育 長 ほかに御発言はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、呉市立義務教育諸学校の特別支援学級で使用する教科用図書は、原案のとおり採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、令和7年度に呉市立義務教育諸学校の特別支援学級で使用する教科用図書は、原案どおり採択することに決定されました。

ここで休憩を取ります。

再開は、11時15分です。

(11:04)

#### 教議第47号「令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））の採択について

(11:15)

教 育 長 それでは、再開します。

それでは、日程第5の教議第47号「令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））の採択について」を議題とします。

採択に入る前に、事務局からの総括説明を求めます。

木屋課長 教議第47号「令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））の採択について」御説明いたします。

お手元にございますA4縦の資料を1枚めくっていただいて、資料の1ページ「教科用図書採択スケジュール」を御覧ください。

小・中学校の教科用図書の採択は、通常4年ごとに実施しております。中学校につきましては、平成30年度に道徳が教科となりましたので、「特別の教科 道徳」のみの採択を実施いたしました。そして、令和元年度に「特別の教科 道徳」を除いた教科用図書について、4年に一度の採択を実施しております。

さらに、令和2年度は、学習指導要領の改訂に伴い「特別の教科 道徳」を含め、全ての教科用図書の採択を実施しております。

令和3年度には、中学校の社会（歴史的分野）だけ、1者の教科書が新たに発行されることとなったため、中学校の社会（歴史的分野）のみの採択を実施しました。

今年度は、令和2年度の採択から4年目となるため、全ての教科用図書の採択事務を行うこととなります。

採択の手続につきましては、先ほど呉高等学校の資料にございました「呉市教科用図書の採択に関する規程」、資料3ページ「令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））の採択手続について」、そして、資料4から

5ページ「令和7年度に呉市立小学校、中学校及び義務教育学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について」及び資料6から7ページ「令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））採択のための調査・研究要項について」を基に、調査・研究委員の部会を3回、選定委員会を2回実施いたしました。

調査・研究委員の部会、選定委員会では、教科書目録に登載されている見本本について、調査・研究、討議を行いました。その際、本日別冊でお配りしている広島県教育委員会の「選定資料」も参考にしておりますことを申し添えます。

そして、お手元にございます別冊資料「令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））総合所見」が、8月19日に選定委員長から教育長への報告の際に提出された総合所見でございます。

本日は、選定委員会委員から、各種目の総合所見の内容について説明させていただきます。

御審議のほど、よろしくお願ひいたします。

教 育 長 ただいまの総括説明を受けまして、令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））については、種目ごとに採択することにしたいと思います。これに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））については、種目ごとに採択することと決定されました。

それでは、国語から順に、選定委員の説明をお願いします。

坂 井 校 長 国語の総合所見について報告を行います。資料は1ページです。

国語は、東書、三省堂、教出、光村の4者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる二つの観点から3点取り上げ、説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

本市において、全国学力・学習状況調査の結果から見ても、例えば、文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈するなど、情報の扱い方について課題が見られます。各学年とも、各学年において、情報活用に係る単元が掲載されています。中でも、光村は、第2学年の単元において災害時における情報収集の場面を取り上げ、インターネットの活用と関連付けた学習となっています。

また、三省堂の第1学年において、防災に関するデータと「みんなでいるから大丈夫」の怖さというアンケート結果という具体的なデータ資料が掲載されており、豪雨災害を経験した本市の生徒にとって、自分事として捉えやすく、より情報の扱い方への理解を深めやすいと考えます。

二つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

問題解決的な学習の実施に向け、どの者においても、日常生活、社会生活の中から題材を決めるなど、実生活とのつながりのある事柄を取り上げた単元、教材が系統的に配列され、目標に応じて「書く」活動と結び付けた掲載がなされています。

中でも、三省堂は、第2学年「地域の魅力を振り返って」において、「書く」と「話す・聞く」の複合単元になっております。領域をまたぐ単元は他者でも掲

載されていますが、「話す・聞く」ことのポイントや「書く」ことについて、具体的に活動が示されており、第2学年で実施する職場体験学習や、総合的な学習の時間と関わらせ、生徒の主体的な学びを促しやすいと考えます。

三つ目は、同じく観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

学習を振り返るための工夫について、どの者においても目標に即した振り返りとなっています。例えば、東書では、振り返りで生徒自身が確認できるように、目標に生徒目線の「問いかけ」が示されています。また、教出と光村では、振り返りの観点を三つ示し、生徒自身が「分かったこと」を自覚しやすく示され、いずれも生徒の主体的な学習につながる工夫がなされています。中でも、三省堂は、全学年全単元で振り返りのキーワードが示されており、その言葉を用いて自分の言葉で振り返るよう示されています。学習したことを振り返りのキーワードを基に、個人思考で再構成させる活動を3年間継続して習慣化させることは、主体的に学習に取り組む生徒の育成に重要な活動だと考えます。

以上述べましたように、三省堂に良い特徴が多いと考えます。

以上で、国語の説明を終わります。

教育長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教育長 御質疑・御意見はありませんか。

大之木委員 観点1の説明では、各者とも情報活用に関する単元が掲載されており、中でも光村や三省堂を取り上げて説明されていました。また、呉市の国語の課題として「情報の扱い方」を挙げられましたが、この「情報の扱い方」という言葉が分かりにくいくらいですが、具体的にどのような力を付け、生かしていくのでしょうか。

坂井校長 平成29年に施行された学習指導要領で新設された事項です。具体的には、話や文章の中にある情報について、その情報同士の関係を整理したり、その関係を捉えたりすることが求められます。整理する際は、それら情報を比較したり、分類したり、関係付けたりすることが大切です。また、具体的に情報を収集する際には、その情報が信頼できるかどうかを吟味することも必要です。

具体的には、三省堂第1学年の教科書148・149ページにあります防災に関する各資料を御覧ください。これらの資料を見ますと、例えば、資料①では、避難情報等を知っていた人の割合が6割程度いるとされていますが、資料②では、避難行動をした人は1割にも満たないことが分かります。このことから、避難行動についてどんな課題があるかを考えることができます。このように、複数の資料を読み取り、比較したり関係付けたりして考えてていきます。また、150ページの資料Bの専門家が書いた文章を読み解くことで、資料Aで考えた課題について、それが「集団同調性バイアス」と呼ばれる傾向と関わりがあることに気付きます。

また、光村の第2学年76ページ・77ページを御覧ください。こちらは、「メディアの特徴を生かして情報を集めよう 災害時における情報収集」という単元で、災害時の情報収集をどのメディアからどのように入手するか、各メディアにある特徴を理解して、どのように情報を収集するかを考える授業が展開できると考えます。一枚めくっていただいて、78ページには、小型犬の飼い犬を連れて避難する場合は、どのメディアで調べることが可能か、信頼性が高いメディアはどれか等を具体的に考える内容になっております。

このように、様々な複数の資料を収集したり、読み解き、活用したりする学習は、他の教科でももちろん使いますし、これからの中でも生きていく上で、大変必要な力となると考えます。

大之木委員 情報の扱い方について、比較することや分類すること、関係付けること、信頼性を考えることが知識・技能として必要な力であると理解いたしました。

吉中委員 観点3では、東書の三つ目の黒丸のところに「目標に対して学んだことを振り返るように」と書かれており、三省堂の二つ目の黒丸のところには「振り返りのキーワードがある」と示されています。東書と三省堂に書かれているそれぞれの特徴と、教出と光村に「三観点で振り返る」と書かれていますが、それぞれの特徴と効果について、もう少し詳しく教えてください。

坂井校長 まず、東書についてです。第1学年の205ページを御覧ください。左上の「振り返る」に、東書は「学んだことをこれからの中でも生きいく上で、大変必要な力となると考えます」と、語り手・視点に着目することで、印象が変わったり、おもしろく感じたりしたところを挙げてみよう」と呼び掛けられています。本单元で学んだことを通して、自分の読み方が変化したり深まったりしたことを自覚できるようになっています。

次に、三省堂です。三省堂教科書1学年の219ページを御覧ください。「学びを振り返る」として、「『少年の日の思い出』の学習を通して、学んだことを自分の言葉でまとめよう」と示されています。振り返りのキーワードが「語り手の視点・自分の考え」となっています。授業やその单元で学んだこと、つまり「語り手の視点」に注目することが重要であるということを、自分の言葉で書くことによって、再度自分自身で確認できたり、深く認識できたりする効果があると考えます。また、振り返りのキーワードを使うことによって、学んだことをぶれずに自分の言葉で整理できることにつながります。

次に、教出と光村についてです。両者は三観点で振り返ることができるよう設定しています。三観点というのは、学習指導要領で示された「知識・技能」、「思考・判断・表現」、そして「主体的に学習に取り組む態度」の三つです。

教出では、第1学年の教科書262ページを御覧ください。「振り返り」において、三つの観点がチェック項目で示されています。

光村では、第1学年220ページを御覧ください。下段に「振り返る」という欄があり、「知る」「読む」「つなぐ」と三つの観点が示されています。教出も光村も、漠然と振り返るのではなく、各観点に沿って自らの学びをチェックできるという工夫があります。

吉中委員 4者の特徴や効果がよく分かりました。また、自分の言葉で振り返ることが重要であることもよく分かりました。先生方も意識して、振り返りをされているということだと思います。

各者、いろいろな工夫があることが分かりましたが、ここまで説明を聞いていますと、国語は三省堂に良い特徴が多いように思います。

教育長 ほかに御意見はありませんか。  
(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。  
ここまで協議を踏まえると、国語については三省堂の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、国語については三省堂の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、書写について選定委員からの説明をお願いします。

坂 井 校 長 書写の総合所見について報告を行います。資料は2ページです。

書写は、東書、三省堂、教出、光村の4者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

文字の書き方・示し方について、朱墨や薄墨で筆使いを示したり、矢印又は点線などを使って筆脈が示されたりして、それぞれの者で筆使いについて分かりやすく工夫がなされています。

中でも、東書は、ポイントとなる箇所に、「行書の動きのパターン」に当たる筆使いがマークで示されています。このマークが、第1学年・第2学年の行書の教材においても繰り返し示されており、行書の書き方の基本を習得しやすいと考えます。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

目的や必要に応じて書き方を選ぶために、三省堂と光村は、楷書と行書など、書体を使い分ける際に意識する観点が示されており、その観点に沿って、生徒がどちらの書体を用いるのがふさわしいかを考えられるよう工夫されています。

また、東書では、「書写のかぎ」で書体を使い分ける観点が示され、同じページに楷書と行書で書き分けた具体例が掲載されていることから、書体の使い分けによるイメージを視覚で捉えながら、生活に生かすよう学びを進めることができます。

三つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むということは、学習の目標達成に向けて、実際に字体等を整えて書けることと同時に、その特徴を理解できているかを確認することは大切なことです。

三省堂は、学習したことを実際に書いてみること、学んだことを書き残すことをセットにして「振り返ろう」としています。また、東書では、自分の書いた文字で振り返る場面や学んだことを話し合う場面を設定しています。書いたり話したりして振り返りが設定されていることは、生徒自身が書いた文字を客観的に観察して学びを整理しやすくなり、中学校学習指導要領解説国語編に示されている「主体的な文字の使い手になるきっかけを持たせること」につながると考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、書写の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。  
(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

吉 中 委 員 書写における「学び」について、もう少し詳しく教えてください。観点2の楷書と行書の使い分けについて、どの者にも掲載されているようですが、これは、

実際どのように学んでいるのか、また、観点3の東書では、「客観的に観察し合う場の設定ができ、学びを整理しやすい」ということでしたが、この場合の「学び」とはどのようなものなのか教えてください。

坂井校長

まず、観点2についてですが、中学校の書写の学びの中には、身に付けたことを日常生活や学習で生かすということがあります。その際、書写で学んだことをどのように生かすか、生徒自身がしっかり考える必要があります。日常生活でもしっかり考えられるように、どの教科書においても、生活や学習の場面が設定されています。東書では62ページに「インタビューのメモを取る」「試験の申込を書く」とあります。三省堂では62ページに「漢字テストの回答欄を記入する」「伝言を受けたとき箇条書きでメモを取る」とあります。教出では86ページに「授業中ノートをまとめる」「手紙を書く」とあります。光村では78ページに「インタビューのメモを取る」「選挙ポスターを書く」「高校の入学願書を書く」等が掲載されています。このように、「インタビューのメモを取る」や「ノートを取る」「手紙・お礼状を書く」「ポスターを書く」等、場面が例として挙げられ、誰が見るのが、書いた目的は何か等の観点と行書や楷書の特徴を踏まえ、どの書体を使うかなどを考え、選ぶという学習活動を行っています。

また、観点3にあります学ぶ内容についてですが、東書の教科書を参考に説明します。楷書については10ページの左端に見出しがありますが、「基本的な点画の書き方」、14ページは「点画の書き方と字形の整え方」、20ページには「文字の大きさと配列」等について、実際の書き方を学びます。筆使いはどうだったのか、漢字と仮名が調和して書けているか、文字の大きさと配列は良いか、などの視点を持って、実際の自分の字や友達の字はどうなっているか、ということを確認します。行書についても同様に、26ページで行書の特徴を捉え、28ページの「点画の連続」や46ページの「点画の省略」等について、どのような筆使いで書くか、ということを理解し、実際に書けるようになるということも書写の学びの一つであると考えます。

吉中委員

書写にも、知識・技能に関わる学びであったり、思考・判断・表現に関わる学びがあり、それぞれを主体的に学ばせる工夫が各者にあることが分かりました。ありがとうございました。

佐々木委員

観点1「知識及び技能の習得」について、東書では「行書の動きのパターン」のマークがあるということでしたが、具体的にどのように指導するか教えてください。

坂井校長

東書の教科書、26ページ・27ページを見ながら御説明します。

まず、行書の特徴として、「点画の丸み」「点画の連続」「点画の変化」「点画の省略」などを学びます。実際に筆を持って書く場合、生徒は楷書と違う筆の動かし方に戸惑うことがあります。点画と点画をつなげて書いたり、丸みを出させたりするために、基本的な筆の動かし方を習得する必要があります。

東書の26ページでは、基本的な筆の運び方を四つ、パターンとして示しています。「二」「十」「口」「人」これらを通して、点線の矢印や、下段にある「書写のかぎ」で、このパターンを習得します。このパターンを習得しますと、教科書の題材や、お手本となっている行書、例えば、教科書28ページや、30ページのように、「日光」や「大空」等そのパターンに基づいて練習することができます。

き、技能の習得の助けになると考えます。ほかの字を書く際も、応用することができると考えます。

佐々木委員 「行書の動きのパターン」を使っての練習の仕方がよく分かりました。日常生活で筆を使う場面はなかなかないですから、やはり書写の時間でどれだけ集中的に学べるかが大事だと思います。東書のような丁寧な書き方のフォローがあると、視覚的にも生徒の助けになると思います。ここまで聞いてきますと、書写は東書が優れていると思います。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、書写については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、書写については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、社会（地理的分野）について選定委員からの説明をお願いします。

高野校長 社会（地理的分野）の総合所見について報告を行います。資料は3ページです。

社会（地理的分野）は、東書、教出、帝国、日文の4者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

1時間ごとの学習課題については、どの者も学習課題が示されており、それに対応するまとめができるようになっています。

その中で、東書や帝国では、個人活動とグループ活動の具体が明記してあります。グループ活動では、まとめたり、話し合ったりする等の活動が設定されることから、協働的な学びを通して、生徒がより一層知識及び技能を習得しやすくなると考えます。

こうした工夫により、生徒は他者との対話を通して知識・技能を概念的に理解したり、新たな考え方方に気付いたりすることができると言えます。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

各者とも、学習指導要領に示されている、地理的な見方・考え方について示しています。

中でも、東書は、「世界の諸地域」の節ごとのまとめに、見方・考え方と資料を結び付けた「資料を活用する力をきたえよう」というページが設けられています。ここでは、複数の資料を比較したり、結び付けて考えさせたりする活動を設定しており、資料を活用した深い学びを促す工夫がされています。

また、帝国は、地理的な見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする特設ページ「アクティブ地理AL」が設けられています。

どちらの者も、生徒の深い学びを促し、思考力、判断力等の育成に効果が期待

できます。

三つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

どの者も、単元の導入において学習の視点が示されており、生徒の主体的な学びを促す工夫が見られます。

中でも、東書は、単元の探究課題について、「探究課題の解決に向けて追求していくこと」が学習課題とともに表で具体的に明記されています。いざ「課題を解決してみよう」と言われても、生徒は「何から考えればよいか分からない」と戸惑うかもしれません。その時、こうした表が整理されていることで、生徒は思考のきっかけを得ることができ、主体的な学びにつながると考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、社会科（地理的分野）の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。  
(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

吉 中 委 員 観点1「知識及び技能の習得」について、東書と帝国では、「個人活動とグループ活動の具体が明記してある。」といった内容の説明がありました。それは生徒にとってどのような良さがあるのでしょうか。

高 野 校 長 それでは個人活動、グループ活動を、教科書を確認しながら説明してまいります。まず、東書の75ページを御覧ください。ここはアジア州の学習をまとめるページとなっています。アジア州は、世界の諸地域の最初の節になります。

中段に、「みんなでチャレンジ」を設定しています。まず(1)グループ活動、74ページの探究のステップで挙げた資料をグループで発表し合いましょうということで、アジア州の経済発展に関して経済が発展したことが分かる資料、あるいは経済発展による変化や課題が分かる資料を選ぶという活動、話し合いが設定されています。

続いて(2)個人活動として、グループ活動を基に、それぞれの地域や国で経済が成長した理由と、それによって起きた変化や課題を図に書き込み、完成させる活動を設定しています。

最後に個人活動として、完成した図を参考に、経済成長した理由やそれによって起きた変化や課題について、多くの地域に共通する点に線を引く活動を設定しています。

その後、「探究課題を解決しよう」で、自分の言葉でまとめる活動を設定しています。

次に、帝国の63ページを御覧ください。ページの左下の部分です。アジア州の学習をまとめる活動として、節の問い合わせについて図でまとめる活動を設定し、続いて2番目に、節の問い合わせについて考えを深めるために、図を基に、アジア州の経済成長とそれによる地域への影響を表す写真を、教科書やウェブサイトなどから1枚選び、グループになって、選んだ写真とその理由を発表し合う活動を設定しています。

その後、節の問い合わせを踏まえて地域の特色を文章でまとめる活動を設定しています。

生徒の中には、地理の学習が苦手で、単元末にうまく学習したことをまとめら

れない者もいます。こうした生徒にとっては、グループになって意見を交わすことは解決の糸口を見付けることにつながり、その後の個人で考える活動が充実しやすくなります。

吉中委員 一人では解決が難しい課題でも、グループで話し合う中で、良い知恵を生み出す体験は、生徒にとって大切なことだとよく分かりました。

大之木委員 観点3「主体的に学習に取り組む工夫」について、東書は、探究課題の解決に向けて追究していくことが、学習課題とともに表で整理されているという説明がありました。このことが、どのように生徒の主体的な課題解決につながるのか教えてください。

高野校長 教科書を使って御説明します。東書の223ページを御覧ください。

中部地方の探究課題として「中部地方の産業は、どのような条件に支えられて発展してきたのでしょうか。」と示されていますが、産業が発展した条件と一言で言っても、様々な要素が複雑に絡み合っており、中学生にとって説明するということはなかなか難しい実態があります。もしかすると、地理が苦手な生徒にとっては、この探求課題に向き合うことも困難になってくると思われます。そこで効果が表れるのが、223ページの下にあります「探究課題の解決へむけて追究していくこと」になります。ここでは、それぞれの単元ごとの探求課題に向けて解決する視点や、大きな探究課題の解決に向けて、スマールステップで学習の流れが示されています。

生徒は、この表を見て学習の見通しを持つことができますので、主体的に学習に取り組みやすくなると考えます。

大之木委員 よく分かりました。ここまで説明を聞いていますと、選定委員の言うように、地理には東書に良い特徴が多いように思いました。

教育長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、社会（地理的分野）については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、社会（地理的分野）については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、社会（歴史的分野）について選定委員からの説明をお願いします。

三谷校長 社会（歴史的分野）の総合所見について報告を行います。資料は4ページです。

社会（歴史的分野）は、東書、教出、帝国、山川、日文、自由社、育鵬社、学び舎、令書の9者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴の分かる三つの観点について説明をいたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

東書、教出、帝国、日文、育鵬社は、1時間ごとの学習課題に対応した問い合わせ2段階で設定しています。東書は「チェック」と「トライ」、教出と日文は「確認」と「表現」、帝国は「確認しよう」と「説明しよう」、育鵬社は「確認」と

「探究」というタイトルで学習活動が示されています。学習課題を達成するための手順を踏むことができ、生徒の知識や技能の習得への効果が期待できると考えます。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

現行の学習指導要領では、社会科（歴史的分野）における思考力、判断力、表現力等の育成については、学習場面において、歴史に関わる事象の意味や意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設定して追究したり、意見交換したりする活動を重視して養うものとされています。特に、単元末のまとめる学習においては、どの者も、章の探究課題等を振り返り、課題に対する自分の考えを文章にまとめる活動が設定されています。

中でも、東書、帝国では、節の学習を振り返り、考えをまとめる場面が設定されています。さらに、東書には、探究課題の解決に向けて、一つ一つの節の問い合わせを解決する場面が設定されており、生徒は、節の問い合わせを解決し学んだことを整理しながら、探究課題の解決に向けて思考を深めやすいと考えます。生徒が探究課題を解決する際に、段階的に探究課題の解決に向かうことにより、生徒のより深い学びを促し、思考力、判断力、表現力等の育成に効果が期待できるものと考えます。

三つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

各者とも、生徒が自ら関心を持って学習に取り組むことができるよう、また、課題解決に向けて見通しが持てるように、学習の進め方や課題解決の過程をタイトルや文章等で表記して、学習の流れを示しています。

中でも、帝国、日文の2者は、絵図やイラスト、年表等を基に話し合う活動や予想を書く活動が示されており、生徒に単元の学習の見通しを持たせ、主体的に学習に取り組ませる工夫があります。

一方、東書は、絵図やイラスト、年表等を基に話し合う活動や予想を書く活動が示されていることに加えて、個人活動とグループ活動が往還的に組み合わされており、生徒に協働的な学びを促す工夫がされています。グループで話し合ったり、個人で考えを整理したりする活動を通して、生徒はより主体的に学習に取り組めるものと考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、社会科（歴史的分野）の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。  
(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

吉 中 委 員 総合所見と先ほどの説明を聞きまして、各者の特徴がよく分かりました。

観点5「内容の表現・表記」についてですが、複数の者でユニバーサルデザインフォントが使用されていると書かれてありますが、ユニバーサルデザインフォントの良さとは、どのようなものですか。

三 谷 校 長 ユニバーサルデザインフォントとは、「誰もが使いやすい」という誰にとっても読みやすく、分かりやすいフォントのことです。

例えば、濁点・半濁点に十分なスペースをとり、文字本体と重ならないようにしたり、濁点同士の間を空けることによって、文字サイズが小さい場合でも判別

しやすいように設計されています。いわゆる通常の学級にも、特別な支援を必要とする児童生徒は在籍しています。ユニバーサルデザインフォントで書かれた教科書を使用することは、どの生徒にとっても読みやすく、落ち着いた学習環境を生み出すことにつながると考えています。

吉中委員

どの生徒にも読みやすいということで理解しました。フォントとは少し違いますが、例えば、はさみや彫刻刀など、学校でよく使う道具について、左きき用のものが充実してきたように思います。「どんな人にも使いやすいように」という配慮はとても大切なことだと思います。

大之木委員

観点1「知識及び技能の習得」について、「1時間ごとの学習課題に対応した問い合わせ2段階で設定している」といった内容の説明がありましたが、なぜ効果的であると考えているのですか。

三谷校長

学習内容を確認・整理したり、自分で考え、言葉で表現したりするという2段階の問い合わせを設定することにより、生徒は学習課題を達成するための手順を踏みながら、課題解決に向かうことができます。

また、これらの問い合わせによって、生徒は見通しを持って着実に学習を進めることができますため、知識や技能の習得への効果が期待できると考えます。

大之木委員

分かりました。2段階の問い合わせによって、手順を踏んで解決できたり、見通しを持ったりすることができるということで理解しました。

佐々木委員

観点2「思考力、判断力、表現力等の育成について」ですが、東書は、一つ一つの節の問い合わせを解決する場面が設定されて、生徒は思考を深めやすい工夫があるという説明がありましたら、もう少し具体的に教えてください。

三谷校長

それでは、教科書を使って御説明します。東書の94・95ページを御覧ください。中世の学習を振り返り、まとめるページとなっています。

まず、95ページの上側に探究課題を示しています。「中世の日本で社会がどのように変化したのか」という大きな問い合わせが示されています。ここに至るまでに、生徒は日本の中世について様々なことを学んできていますが、それらを整理し、この大きな問い合わせに答えることはなかなかに難しいものです。

そこで、94ページを御覧ください。「探究のステップ」として、「節の問い合わせを解決しよう」と示されています。94ページでは1節、95ページでは2節が扱われ、1・2のように各節ごとの学習内容をスマールステップで振り返る構成となっています。こうして「小さな問い合わせ」に答える中で、生徒は学んだ内容を整理していくかたちとなっております。

さらに、96ページを御覧ください。ここでは「Xチャート」という思考ツールを使って、学習内容を視覚的に整理する手立てが示されています。これらのサポートを受けながら、生徒は最終的に96ページ右下、探究課題への答えを出すことができるようになっています。

繰り返しになりますが、探究課題はサイズの大きな問い合わせであり、生徒にとってとつつきにくい部分があります。そこに向かって段階的に思考を進めることで、生徒の「思考力、判断力、表現力等の育成」につながっていくことが期待できます。

佐々木委員

大きな課題は小さく分解して少しづつ解決していくというのは、我々大人が仕事をする上でもよく使う手法だと思います。先ほどの質問でも、2段階で手順を

踏ませる工夫というのがありました、東書はそれに加えて節ごとの問い合わせを考えさせる工夫もあるということで、生徒の考えるハードルを下してくれるのではないかと思います。ここまで聞いてきますと、やはり東書が優れていると思います。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、社会（歴史的分野）については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、社会（歴史的分野）については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、社会（公民的分野）について選定委員からの説明をお願いします。

三 谷 校 長 社会（公民的分野）の総合所見について報告を行います。資料は5ページです。

社会（公民的分野）は、東書、教出、帝国、日文、自由社、育鵬社の6者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴の分かる三つの観点について説明をいたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

知識及び技能の習得に向けた学習課題の示し方について、各者とも「どのように」「どのような」等の問い合わせの形態で学習課題を提示しています。中でも、東書、教出、帝国、日文、育鵬社の5者については、1時間のまとめで、追究した学習課題に対応した問い合わせが設定され、2段階で文章表現を用いてまとめたり、説明したりして、学習を振り返る設定がなされています。このことは、生徒の知識及び技能の確実な習得に向けて効果的であると考えます。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

現行の学習指導要領では、社会科（公民的分野）における思考力、判断力、表現力等の育成については、学習場面において、課題の解決に向けて習得した知識を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察・構想したことを説明したり、論拠を基に自分の意見を説明・論述させたりすることにより養うものとされています。各者とも、特に単元末のまとめにおいて、学習した内容を振り返り、探究課題について、自己の考えを表現されることについて、それぞれ工夫をされています。考察・構想させる場合は、議論などを行い、深めさせることが大切であるとされていますが、中でも東書は、「深めよう」として探究課題に係る新たな課題を設定し、「みんなでチャレンジ」として、個人活動やグループ活動を取り入れ、対話的な学びを進めることができるような工夫が見られます。また、日文においても「ニュースを見方・考え方から見てみよう」として、生徒の思考を深めさせる設定がなされています。これらの工夫は、生徒の思考力、判断力、表現力等の育成に効果的と考えます。

三つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

各者とも、生徒が自ら関心を持って学習に取り組むことができるよう、大单元

の導入において、写真やイラスト等を掲載し、工夫しています。

各単元の導入における学習の見通しを持たせるための工夫については、東書、教出、日文の3者は、設定された探究課題のもと、課題解決に向けた各節での問い合わせを記載し、問い合わせを軸に課題解決ができるよう工夫しています。このことは、生徒にとって、単元の学習の見通しを持つことにつながり、探究を進める上で有効であると考えます。

また、単元末のまとめでは、東書において、導入部で設定した探究課題を各節の問い合わせを軸に解決を図る展開になっており、探究課題の解決が単元末のまとめにつながっています。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、社会科（公民的分野）の説明を終わります

教育長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。  
(しばらく時間をとる。)

教育長 御質疑・御意見はありますか。

大之木委員 観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」について、説明の中で考察・構想させる場合は、議論等を行い深めさせることが大切であるとありました。その中でも、特に東書と日文には生徒の思考を深めさせる工夫があるとのことでしたが、具体的に説明してください。

三谷校長 それでは、教科書を使って御説明します。まず、東書の178ページを御覧ください。この章の探究課題の解決に向けて、「深めよう」として、新たに「コンビニエンスストアの新たなサービスを企画しよう」という課題を設定し、「みんなでチャレンジ」として、個人活動とグループ活動を取り入れています。個人活動を行う際には、思考を深めさせるための思考ツールが示されたり、ヒントを記載したりする等の設定があり、グループ活動では、効率・公正、希少性、持続可能性の観点で問題がないか等の視点を示して、意見を交換するように示されています。

先に申しましたように、公民では、考察・構想させる場合は、議論などを行い深めさせることが大切です。こうした新たな課題の設定や「みんなでチャレンジ」のコーナーがあることによって、生徒はこれまでに学んだことを生かしながら、議論し合い、一人一人が考えを深めていくことにつながると考えます。

続いて、日文の168ページを御覧ください。

東書と同じく経済の学習のまとめコーナーですが、ページの左下に、「ニュースを見方・考え方から見てみよう」というコーナーがあり、実際の新聞記事が紹介されるとともに、新たな問い合わせも投げ掛けられています。

いずれの者も、単に学習したことまとめ終わるのではなく、生徒が学んだことを活用して議論しやすくする仕掛けを設けていると思いますが、こうして比べてみると、東書のように「個人活動」「グループ活動」と具体的な学習活動が示されていますと、授業者としても「ではここからはグループで話し合ってみましょう」と投げ掛けやすく、自然に生徒が議論に向かいやすいのではないかと思います。

大之木委員 よく分かりました。ありがとうございました。

吉中委員 総合所見の観点4「内容の構成・配列・分量」の記載で、社会参画への意識を

高める工夫の記載があります。先ほどの説明の中にはありませんでしたが、選挙権の年齢も18歳以上に引き下げられ、主権者教育等、社会参画の意識を高めることはとても重要だと思います。各者、どのように取り扱っているのか教えてください。

三 谷 校 長

どの者にも社会参画への意識を高める工夫があると言えます。

それでは、教科書を使って御説明します。

まず、東書の124ページを御覧ください。章末に「S市の議員になって条例を作ろう」という学習課題を設定し、これまでの学習やS市の課題や市民の声等の資料を参考に、条例案をつくる活動を設定しています。

次に、教出の126ページを御覧ください。章末にこの章の問い合わせである「日本国憲法に基づいてよりよい社会をつくるために、私たちは政治とどのように関わればよいだろうか」について、これまでの学習を振り返りながら自分の意見をまとめた学習活動を設定しています。

次に、帝国の108ページを御覧ください。章末に「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」という学習課題を設定し、これまでの学習や資料等を参考に、予算案を作成する活動を設定しています。

次に、日文の124ページを御覧ください。章末に「自分たちのまちの首長を選ぼう」という学習課題を設定し、課題を出し合い、政策について検討して模擬選挙を行う活動を設定しています。

次に、自由社の118ページを御覧ください。章末に「総合的な安全保障問題について考えよう」という学習課題を設定し、調べて、話し合い、グループでまとめて発表する活動を設定しています。

最後に、育鵬社の114ページを御覧ください。章末に「自分たちの住む地域をより良くするために、どのようなまちづくりが必要か考えてみましょう」という学習課題を設定し、カードを整理し、ランキングを付ける活動を設定しています。

いずれの者も、具体的な例を挙げながら、学習課題を解決するような設定がされています。

呉市では、中学生が市議会の議場に入り、より良い呉市にするための提案をする「ふれあい夢議会」という行事を毎年実施しています。今、御紹介しました各者の取扱いで言いますと、東書、帝国、育鵬社の内容は、呉市の中学生にとって身近に感じることで、自分事として学習を進めることができると考えます。

吉 中 委 員

「ふれあい夢議会」と結び付けて考えるのは、呉市ならではという感じがしました。各者、様々な工夫をされていると感じますが、選定委員会での質疑や、今日のいろいろな説明を併せて考えますと、やはり選定委員の言うように、東書に良い特徴が多いように思いました。

教 育 長

ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長

御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、社会（公民的分野）については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長

御異議なしということで、社会（公民的分野）については東京書籍を採択する

ことに決定されました。

続いて、地図について選定委員からの説明をお願いします。

高野校長 それでは、地図の総合所見について報告を行います。資料は6ページです。  
地図は、東書、帝国の2者から発行されています。  
本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について御説明いたします。

一つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力の育成等」についてです。

育成すべき資質・能力の三本柱の一つである思考力、判断力、表現力等の育成については、いずれの者も、資料図を多面的・多角的に活用するために、歴史、公民、SDGsとの関連を示すマーク等が設けられています。

また、資料図を効果的に活用し、生徒の思考力・判断力を育成するための工夫がなされています。例えば、東書では、キャラクターが設定され、様々な資料図を読み取るための具体的な指示が示されています。一方、帝国では、様々な資料図を多面的・多角的に分析することを促す問い合わせ、「主題学習」というコーナーで示されています。こうした問い合わせは、生徒の思考を促しやすく、問題解決の力の育成に効果が期待できます。

二つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

生徒の学びに対する興味・関心を高めるために、いずれの者も降水量、工業等の多様な資料図が掲載されています。本県の位置する中国・四国地方では、帝国には、農業に関する資料図もあり、身近な地域の課題を追究するための資料が豊富なことから、より生徒の主体的な学習を促すものと考えます。

三つ目は、観点4「内容の構成・配列・分量」についてです。

学習指導要領には、地理的分野の内容「日本の様々な地域」に「自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること」と示されていることから、地図においても、いずれの者も、防災に関する資料図が多数掲載されています。

特に、帝国は、線状降水帯について詳しく示されているとともに、南海トラフに関連する図や災害に対する備えの模式図が掲載されているなど、呉市の生徒に関わりの深い資料図が多数あるため、生徒の防災意識を高める効果が期待できます。

以上述べましたように、帝国に良い特徴が多いと考えます。

以上で、地図の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。  
(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

佐々木委員 この夏も、日本各地で線状降水帯が発生し、大雨災害が発生しています。さらに、先日南海トラフ地震臨時情報、巨大地震注意が発表されたように、ここ呉市もいつ自然災害に巻き込まれてもおかしくない状況です。やはり、防災教育を進めることは大切だと思います。先ほどの説明で、帝国には線状降水帯や南海トラフ地震のことが示されていると報告を受けましたが、具体的にどのような資料が掲載されているのかを教えてください。

高野校長 防災について、地図を確認しながら説明いたします。帝国の159ページを御覧く

ださい。日本の自然災害、防災についてのページになります。防災については、帝国は豊富な資料を掲載しております。その特徴的なものの一つが、159ページの中ほどにあります②の南海トラフ沿いで発生した過去の巨大地震についてです。これまで南海トラフ沿いで発生した巨大地震の発生した年、巨大地震の範囲、マグニチュード、さらに、どのくらいの間隔で起こっているか掲載されています。

続いて、162ページを御覧ください。線状降水帯の仕組みが絵図を用いて詳しく説明されています。その下には線状降水帯による降水の様子として雨雲レーダーを掲載し、1時間当たりの降水の様子が分かる資料を掲載しています。

こうした詳細な資料と地図を結び付けて考えさせることで、生徒の防災意識を高め、呉市の重点の一つである「防災教育の深化」につながると考えます。

佐々木委員 平成30年の西日本豪雨のことは、今でも鮮明に覚えています。やはり防災教育というのは、いかに子供が「自分事」として捉えられるかが大事だと思います。今、紹介いただいたような、呉市に実際に起きそうな自然災害を扱っている帝国の地図は、呉市の子供たちに合っていると感じます。

教育長 ほかに御意見はありませんか。  
(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。  
ここまで協議を踏まえると、地図については帝国書院の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)  
教育長 御異議なしということで、地図については帝国書院の教科用図書を採択することに決定されました。

ここで休憩を取ります。  
再開は、13時50分です。  
(休憩)

教育長 続いて、数学について選定委員からの説明をお願いします。  
浮田校長 それでは、数学の総合所見一覧について報告を行います。資料は7ページです。

数学は、東書、大日本、学図、教出、啓林館、数研、日文の7者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせていくためには、生徒の関心・意欲を高め、学びの目的を明確にさせることが必要です。

そのためには、新しい章に入る際の導入場面が重要になりますので、各者において、様々な工夫が見られます。

中でも、学図、教出、啓林館は、日常生活や社会との関連が分かりやすく示されており、生徒の関心・意欲を高める工夫があります。

また、東書は、章を通して生徒に身に付けさせたい力をタイトルと文章で示しており、学びの見通しを明確にする工夫があります。

さらに、東書には、各学年の計算の基盤となる数と式の領域において、学習の

まとまりごとに必ず身に付けたい問題が取り扱われています。

これらの工夫により、生徒は、その章で何を学んでいくのか、何のために学ぶのか、何ができるようになればよいのかが明確になり、知識及び技能の習得に効果があると考えます。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

生徒の思考力、判断力、表現力等を育成するためには、数学的な見方・考え方を働かせ、個人で考えたことを、友達に説明したり、話し合ったりする協働的な学習が大切です。そのため、全員で、説明したり、話し合ったりする問題が複数取り扱われています。

中でも、東書、学図、啓林館、教研は、問題発見・解決の過程における数学的な見方・考え方を働かせる展開があり、導入で、多様な表現ができるような工夫がされています。導入時にできるだけ自由な発想で思考させることで、様々な表現が生まれ、協働的な学びにより多くの表現に触れることができるため、思考力、判断力、表現力等の育成につながると考えます。

三つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

生徒に、主体的に学習に取り組むことができるようになるためには、まず、どのような流れで学べばよいのか、その基本的な方法を身に付けさせることが必要です。「学び方を学ばせる」ということです。のために、ほとんどの者が、巻頭に特設のページを設け、生徒が自ら問題解決を進めていくときの学習の流れを、図や矢印などを使って、分かりやすく示しています。

中でも、東書、教出、啓林館は、学習の流れの中に見通しを立てる場面が示されています。学習指導要領でも「解決の見通しをもつ」ことの必要性が示されており、生徒は見通しを立てた上で、主体的に学習に取り組むことが期待できます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、数学の説明を終わります。

教育長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。  
(しばらく時間をとる。)

教育長 御質疑・御意見はありませんか。

吉中委員 教科書を見てみると、一昔前に比べるとQRコードがずいぶん増えたように感じます。呉市では「Qubena」というAI型デジタルドリルを導入しており、授業や宿題で活用されていると聞いています。この「Qubena」も教科書のQRコードもタブレット端末上で利用するものだと思いますが、両者の使い分けはできるものなのでしょうか。あれもこれもとなると、生徒の負担になるのではないかと少し心配になります。

浮田校長 呉市立学校では「Qubena」が導入され、本校でも様々な場面で生徒が活用しています。これはタブレット上で使うドリル教材ですが、生徒の間違い方に応じて自動で補充問題を出してくれるなど、とても便利な機能を備えたものです。

一方、教科書に掲載されているデジタルコンテンツの中には、例えば図形を回転させてその動き方を見る能够なものや、データを表やグラフに整理してシミュレーションを行うものなど、生徒にじっくり考えさせることができるものが掲載されています。また、数学を社会で活用している大人へのインタビュー映

像など、生徒の興味・関心を高めるものもあり、AI型デジタルドリルとは異なる学習目的で活用することができます。

したがいまして、AI型ドリルも、QRコードも、と盛りだくさんにするのではなく、教師は授業の目的に応じて、適切な教材を選んで生徒に取り組ませることができます。

吉中委員 「Qubena」と教科書のデジタルコンテンツには、それぞれの学習目的や良さがあるということが、よく分かりました。

佐々木委員 先ほどの説明の中で、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」の説明の中で、「学び方を学ばせる」という言葉が印象に残りました。しかし、学び方は人それぞれなのではないかと思っていますが、この部分について、もう少し詳しく教えていただけますか。

浮田校長 委員のおっしゃるとおり、生徒によって興味・関心は様々であり、特性や理解のスピードも人それぞれです。そのため、個別最適な学びを充実させるため、本校でも、問題解決学習に取り組む授業では、授業形態を変えて学習する問題を「教科書」「プリント」「タブレット」のどれから選んでもよいという形で生徒に選ばせて、次に考え方ですが、「一人で考える」「グループで話しながら考える」といった学習方法も「自分で選択してよい」という自由進度学習を取り入れている教員もいます。

しかし、それはあくまで学習内容の確実な定着や学習を深め、広げるための学習方法であり、どのような方法で学ぶにしても、数学で大切な学習過程は共通です。中学校学習指導要領解説の数学編には、このような算数・数学の学習過程のイメージ図が示されています。

(画面に映す。)

このイメージ図を見ていただきながら、一番特徴的な東書の1年生の4ページ・5ページをお開きください。

4ページ左に「問題をつかむ」とあり、イメージ図の上段に「事象を数学化する」とあります。つまり、数学の問題として表現することに対応しています。次に、教科書にある「見通しを立てる」「問題を解決する」は、イメージ図の中段に、教科書5ページ「ふり返る」「深める」は、イメージ図の下段とそれぞれ対応しています。

生徒自身が、どうすれば解決できるか見通しを持って考える、その過程や結果がどうであったか振り返る、そして新たな学習につなげる。東書は、生徒がこの「学び方」、つまり「算数・数学の学習過程」を意識しながら、年間を通して学習に取り組めるよう、巻頭だけでなく、12ページ・13ページには「九九表のきまりを見つけよう」ということで「数学の世界の事象」といったところで過程のイメージを表とリンクさせます。また、57ページ・58ページには「身長の平均を工夫して求めてみよう」とあるのですが、これは「現実の世界の事象」ということで、バレーボールを題材に、実際のものを数学の世界に持ち込んで学び方を工夫していく所に良い特徴があると考えます。

佐々木委員 よく分かりました。どのような学習方法であれ、数学の「学び方」を知っているということは、とても大切なポイントだと思いました。

生徒が主体的に学習する指導を丁寧に行っていくことは、これからも大切にし

ていってほしいと思います。ここまで説明を聞きますと、数学は東書が優れていると思います

教育長 ほかに御意見はありませんか。  
(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。  
ここまで協議を踏まえると、数学については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。  
(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、数学については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、理科について選定委員からの説明をお願いします。

荒本校長 理科の総合所見について報告を行います。資料は8ページです。  
理科は、東書、大日本、学図、教出、啓林館の5者から発行されています。  
本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

これらの資質・能力の育成に向けて、理科においては、最初の課題設定が大切になります。

どの者も、単元の導入における課題設定の工夫として、生徒が自然事象を見て気付きや疑問を持ち、解決すべき課題の設定へと自然な流れが生まれるよう工夫されています。中でも、東書は、生徒同士が会話をしながら課題設定に進んでいく様子が漫画形式で示されており、どのような思考の流れを経て課題を設定すればよいのか具体的にイメージしやすくなる工夫があります。

二つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

現行の学習指導要領では、理科で育成を目指す資質・能力を育成する観点から、これまで以上に科学的に探究する活動に重点が置かれています。平成28年12月に示された中央教育審議会答申において、「理科の具体的な改善事項」の中で、「探究の過程全体を生徒が主体的に遂行できることを目指す」とあるとおり、教師はもちろんのこと、生徒自身が「探究の過程とは何か、どう進めていくべきか」を理解していくよう指導する必要があります。そのため、どの者も巻頭や巻末において探究の過程の進め方が詳しく示されています。

中でも、東書、啓林館では、探究の過程の一連の流れが漫画形式で描かれており、生徒が探究の過程全体をイメージしやすくなっています。

また、学図では、探究の過程の各段階が構造的に整理されており、生徒が探究の過程全体を俯瞰的に捉えやすくなっています。教出は、疑問から考察までの各段階が具体的な観察、実験を例に示されており、生徒が探究の過程全体をイメージしやすくなっています。

さらに、東書では、各学年の巻頭に「考察はここをおさえよう」というコーナーが設けられています。「考察」とは、実験で得られた結果を基に、自身の仮説が正しかったか検証する重要な段階ですが、その際の考え方のポイントがフローチャートで示されており、生徒が探究の過程全体を振り返りながら結論を導きやすくなっていることから、より主体的な学習につながるものと考えます。

三つ目は、観点5「内容の表現・表記」についてです。

どの者も、巻頭の見開きやコーナーなどで、生徒に科学への興味を持たせる工夫がされています。中でも、大日本、教出では、授業で学んだことがどのように社会に生かされているかイメージしやすいよう、様々な職業の人たちからのメッセージが掲載されています。

また、東書では、「科学の本だな」コーナーが設けられ、学年ごとの学習内容に関わる複数の書籍が紹介されています。ここで紹介された書籍をきっかけとして、生徒が授業で学んだことを深めていくことに役立つことが期待できます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、理科の説明を終わります。

教育長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教育長 御質疑・御意見はありませんか。

大之木委員 観点5「内容の表現・表記」について、各者の教科書を見てみましたが、どの者も思わず興味をひかれてしまう写真や記事がたくさんあり、図鑑を見ているようでした。先ほどの説明で取り上げられた東書、大日本、教出について、教科書でどのように示されているのか説明してください。

荒本校長 まず、東書の教科書を御準備ください。第1学年の表紙をめくったすぐの見開きを御覧ください。ここでは、疑問を感じている生徒の大きな写真とともに、「あなたの『?』は、どんな『?』ですか。」と、疑問を持つことを促す呼び掛けが書かれています。

次に、大日本の教科書を御準備ください。同じく第1学年、表紙をめくったすぐの見開きです。ここでは、動物園で働く獣医の方が象の診察をする大きな写真とともに、メッセージが掲載されています。

最後に、教出の教科書を御準備ください。第1学年です。表紙をめくったすぐの見開きでは、目次等とともに国内の風景写真が掲載されています。また、もう1ページめくっていただき、右ページの折り込みを開いてください。「科学の扉」として、恐竜学者の写真とともに、メッセージが掲載されています。

また、東書に戻ります。5ページをお開きください。「科学の本だな」として、この学年で学習する内容に関連した本が紹介されています。東書の工夫は、生徒が学んだことを自主的に深めていくことに、また、大日本、教出の工夫では、生徒が学んだことがどのように社会に生かされているのかイメージすることに、それぞれ効果を発揮すると考えます。

大之木委員 博物館や動物園に来ている子供たちの表情を見ると、とてもいい顔をして見入っています。「理科離れ」という言葉が聞かれますが、こうした教科書を眺めながら、子供たちが生き生きと科学を学んでくれることを期待しています。

吉中委員 先ほどの説明の中で、理科では「探究の過程」という流れがあり、それに沿って物事を考えていくことが大切だということが分かりました。各者で「探究の過程」が示されて様々工夫がある中で、東書で紹介された「フローチャート」が気になりました。選定委員会でも質問が出していましたが、少し分かりにくかったので、具体的に説明していただけますか。

荒本校長 それでは、東書の教科書を使って御説明します。第1学年の4ページをお開き

ください。ページ上段に「考察はここをおさえよう」としてフローチャートが示されています。

では、このフローチャートが実際の実験でどのように生かされるか御説明します。第2学年の188ページをお開きいただき、第1学年のフローチャートと並べて御覧ください。第2学年の「水蒸気が水滴に変化する条件は、何だろうか。」にありますページ中段の「？」、ここが探究のスタート、「課題設定」となります。この課題設定を解決していくために仮設であるとか実験、191ページの「分析解釈」のところで「考察しよう」があります。

ここで、先に開いていただきました「考察のフローチャート」を並べて御覧ください。「フローチャート」に沿って考えてみます。まず、フローチャートの左上、「実験の目的は何?」という問い合わせがあります。そこで、第2学年の教科書を189ページまで戻り、実験の目的を確認します。次に、フローチャートを下に下がりますと、「結果と仮説・予想は合っている?」と問い合わせがあります。生徒は、実験前に188ページ下段の「仮説」で自分なりの仮説を立てていますので、それと実際の実験結果を比較することになります。

再度フローチャートに戻っていただきまして、「結果と仮説が合っていた」として、一番下の段「どうやって目的を解決できたか言葉でまとめよう。」に進みます。生徒は、ここまでフローチャートに沿って確認してきたことを踏まえ、「水蒸気が水滴に変化する条件は、何だろうか。」という課題に対する答えをまとめることとなります。

以上のように、フローチャートが「考える指針」となり、生徒は「何をどう考えればよいか」ということを具体的に学習できるということになります。

吉中委員 丁寧な説明、ありがとうございました。中学生の気分になって聞いてみましたが、こうしたフローチャートがあると、どんどん自分で考えてみようという気になると思います。こうした工夫があることも含めまして、理科は東書が優れています。

教育長 ほかに御意見はありませんか。  
(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、理科については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、理科については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、音楽(一般)について選定委員からの説明をお願いします。

小林校長 それでは、音楽(一般)の総合所見について報告を行います。資料は9ページです。

音楽(一般)は、教出、教芸の2者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

教出の音楽1、12ページ、教芸の音楽1、14ページをお開きください。

歌唱分野における知識及び技能に関する記載として、教出には、第1学年と第2・3学年上に「Sing! Sing!」のコーナーが記載されているのに対し、教芸には、第1学年、第2・3学年上、第2・3学年下の全学年にわたって「My Voice!」のコーナーが設けられ、発達段階に応じた継続的な指導ができるようになっています。また、声の出る仕組みについて、イラストを用いた説明があり、声を響かせる部分を具体的にイメージしやすくなっています。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

教出の音楽1、38ページと教芸の音楽1、20ページをお開きください。

創作分野における音楽表現を創意工夫させるための工夫として、教出には六つの活動が設定され、活動4から活動6には、活動1から活動3の内容を書き込む欄を設けています。また、吹き出しには、「～しましょう」と、活動の指示が示されています。

教芸には、五つの活動が設定されており、活動3ではワークシートを使って創作できるようになっています。また、吹き出しには、「2分音符に向かって跳躍進行で上行したからハッとしたよ。」「1小節目のリズムが細かかったから、2分音符がよりのびやかに感じられたね。」と、どの要素、リズム・旋律を、どのように工夫するか、考える観点や工夫の仕方が示されており、生徒に分かりやすく、思考力、判断力、表現力等の育成につながるものと考えます。

三つ目は、観点5「内容の表現・表記」についてです。

教出の音楽2・3年下、11ページと教芸の音楽2・3下、11ページをお開きください。

教出は、デジタルコンテンツとして、二次元コードが掲載されており、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページにアクセスできるようになっています。では、実際にアクセスしたものを見ていただきます。

(動画を映し出す。)

このように、範唱に合わせた風景と歌詞の動画が流れます。

教芸にも、デジタルコンテンツとして、二次元コードが掲載されています。こちらも、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画が掲載されています。さらに、パート別とカラピアノの音源が掲載されているページ、楽曲に関連する説明と、それぞれの旋律の一部の音源を掲載しているページにアクセスできるようになっています。では、実際にアクセスしたものを見ていただきます。

(動画を映し出す。)

このように、豊富な資料で、学習が深まるような工夫があります。

以上述べましたように、教芸に良い特徴が多いと考えます。

以上で、音楽（一般）の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

佐々木委員 音楽といえば歌う活動が多いと思います。先ほど、観点1の説明の中で、歌唱分野における教科書の工夫を取り上げておられました。ああいったページを、実際の授業ではどのように活用されるのか教えてください。

小 林 校 長 歌唱活動では、どのように歌うか、思いや意図を持つことを重視した指導を行

います。この時、自分の思いや意図を歌で表現するためには、発声や言葉の発音、身体の使い方などの技能が必要になってきます。教出の音楽1、12ページをお開きください。「Sing! Sing!」では、歌うための準備として、歌うための姿勢、息のコントロール、母音の発音が記載されています。

教芸の音楽1、14ページをお開きください。「My Voice!」が設けられ「自分の歌声を見つけよう」として、準備、姿勢と呼吸、歌声づくりや、声の出る仕組みや変声期についての記載があります。さらに、15ページの図1にあるように、声が出る仕組みでは、自分たちに見えない部分がイラストで紹介されることで、どのように響かせて歌うよいか、さらに具体的なイメージを持つことができます。また、これらの技能を定着させるには、繰り返し試すことが大切です。教芸では「My Voice!」のコーナーが全学年にわたって掲載されており、継続的に知識技能の習得を図るために取り組める工夫があります。授業では、こうしたページを使いながら、生徒が知識・技能を習得できるよう指導していきます。

佐々木委員 感想ですが、音楽は2者のみの発行ということで、二つの教科書を対比しながら説明していただいたので分かりやすかったです。どちらも工夫がしておりますが、例えば全学年に載っているだとか、考えるヒントになる吹き出しだとか、丁寧さということで言えば、やはり教芸が良いかなと思います。

教育長 ほかに御意見はありませんか。  
(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。  
ここまで協議を踏まえると、音楽（一般）については教育芸術社の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。  
(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、音楽（一般）については教育芸術社の教科用図書を採択することに決定されました。  
続いて、音楽（器楽合奏）について選定委員からの説明をお願いします。

小林校長 それでは、音楽（器楽合奏）の総合所見について報告を行います。資料は10ページです。

音楽（器楽合奏）は、教出、教芸の2者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

音楽表現を創意工夫する学習において、どのように示しているかということを、教科書を見ながら説明いたします。

教出の74ページと教芸の54ページをお開きください。どちらも器楽アンサンブルの教材となっています。

教出は、基本形の音楽を基に、伴奏Aから伴奏Dのオプションパートを加えて、速度や強弱を話し合いながら、全体の構成を工夫していく流れになっています。教芸は、ア、イの二つの部分で構成されている曲の特徴を確かめ、確かめたことを基に表現を工夫させる流れになっています。さらに、どのように演奏したいかを考える際に注目するポイントとして、音楽を形づくっている要素を示し、吹き出しで考える観点が例示されており、どの生徒にも分かりやすく、思考力、

判断力、表現力等の育成につながるものと考えます。

二つ目は、観点4「内容の構成・配列・分量」についてです。

内容の構成として、教出には、リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓、合奏、アンサンブル、名曲旋律集、資料が掲載されています。教芸には、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、アンサンブル曲、楽器でMelody、資料が掲載されています。加えて、教芸の方には、打楽器についても掲載されており、その豊富な内容は、楽器の特徴などの知識や表現活動をするための技能を確実に習得することにつながります。

三つ目は、観点5「内容の表現・表記」についてです。

教出の8・9ページ、教芸の12・13ページをお開きください。

リコーダーについて、教出は、姿勢と構え方が、アルトリコーダーとソプラノリコーダーの写真で示されています。教芸は、姿勢と構え方について、アルトリコーダーを演奏する正面、側面の写真で示されています。さらに、指の押さえ方やマウスピースのくわえ方の悪い例もイラストで掲載されており、生徒のつまずきを想定した内容の工夫があります。

以上述べましたように、教芸に良い特徴が多いと考えます。

以上で、音楽（器楽合奏）の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

（しばらく時間をとる。）

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

大之木委員 先日の選定委員会を傍聴しました。その中で、呉市の中学校で使われている楽器について質問があり、私も中学生、高校生のころ、プラスバンド部に所属しておりまして、いろいろな楽器に触れたことを思い出しました。

観点4の説明では、両者様々な楽器の紹介がある中で、教芸は打楽器についても掲載されているとありました。

音楽（一般）でも質問が出ていましたが、実際の授業で打楽器を扱う場面はあるのでしょうか。

小 林 校 長

ここ数年、コロナウイルス感染症の影響で、歌ったり、リコーダーを演奏したりする活動が制限された時期がありました。その時、表現領域の器楽として、授業で打楽器が多く使われました。そういうこともあり、以前よりも授業の中で打楽器がよく使われています。また、中学校の吹奏楽でも、打楽器希望の生徒が以前より増えてきているという実態もあります。

それでは、打楽器の記載がある教芸の器楽63ページから67ページを御覧ください。クラベスやカウベルといった数種類の打楽器が載っています。楽器の紹介だけでなく、基本的な奏法についても記載があります。楽器によっては、どの部分を叩いて演奏するのか分かりにくいくこともありますので、奏法の説明はとても役に立ちます。また、これらの楽器を使ったアンサンブル曲が90ページにあります。ここでは、音の重ね方や楽器の音色の変化の工夫による面白さを味わうことができます。それぞれのパートの役割を考えて、どの楽器の音色がどの役割に合うかを考えたり、どんな楽器の組合せが面白いか等を考えたり、音を出して試しながら表現を工夫します。このように、どんな音で表現したいのかという思いや意図を表現できるよう、様々な楽器の特徴などの知識や表現活動をするための技

能を獲得できるよう指導していきます。

大之木委員 音楽は、いかに多くの体験をするかが大切だと思いますから、なるべく多くの種類に触ることは良いことですね。先ほどの説明の中で、教芸はアルトリコーダーの悪い例も紹介されてあると言わっていましたが、苦手な生徒のつまづきをフォローするような内容も非常に印象に残りました。やはり教芸が良いと思います。

教育長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、音楽（器楽合奏）については教育芸術社の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、音楽（器楽合奏）については教育芸術社の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、美術について選定委員からの説明をお願いします。

白井校長 それでは、美術の総合所見について報告を行います。資料は11ページです。

美術は、開隆堂、光村、日文の3者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

思考力、判断力、表現力等の育成のためには、表現の学習と鑑賞の学習の関連を図ることが大切です。3者とも、第1学年のオリエンテーションのページにおいて、表現と鑑賞のつながり、あるいは、表現と鑑賞を関連させた学習の流れが示されています。

中でも、開隆堂、光村は、各題材において「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」、あるいは「表現」「鑑賞」が表記されているとともに、相互に関連した学習の流れが示されており、「表現」と「鑑賞」について、相互の関連を図りやすいと考えます。

また、生徒が豊かな発想をしたり、作品の構想を練ったりしやすくなる工夫も大切です。各者とも、アイデアスケッチや生徒作品、作者の言葉等が示されている中、日文では、「表現のヒント」で表現活動における発想・構想の手立てや技能の方法が提示されており、生徒の発想や構想する力を育むことが期待できます。

二つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

学習指導要領では、学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」の実現が求められています。生徒が主体的に学習に取り組むためには、興味・関心を高めるための工夫が必要です。その工夫として、3者とも、一部の作品において、全体が見開きや折り曲げの大型図版、原寸大の図版等で示されたページがあります。

中でも、光村では、日本の絵画の紹介ページにおいて、実感を伴う材質感のある用紙を使用しているため、生徒の興味・関心を高め、主体的な学習を促すことが期待できます。

三つ目は、観点5「内容の表現・表記」についてです。

3者とも、各題材や巻末資料等に二次元コードが示されています。

中でも、光村は、鑑賞中心の題材において二次元コードから、作品を拡大したり書き込んだりできる「書き込みツール&高精細画像」等にアクセスでき、鑑賞の視点を豊かにすることが期待できます。

以上述べましたように、光村に良い特徴が多いと考えます。

以上で、美術の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。  
(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

吉 中 委 員 観点3「主体的に学習に取り組む工夫」として、見開きや折り曲げの大型図版、原寸大の図版等で示されたページがあると分かりました。その具体について教えてください。

白 井 校 長 具体例を、教科書を使って説明いたします。開隆堂の第1学年26ページ、光村の第1学年37ページ、日文の第1学年24ページをお開きください。3者とも、俵屋宗達の「風神雷神図屏風」が、見開きのページで示されています。特に、光村は、観音開きで開いた形で作品をダイナミックに鑑賞することができます。加えて、先ほど説明させていただいたように、光村の第2・3学年27ページのように、実感を伴う材質感のある用紙を使用しているページもあります。

このような工夫により、生徒の興味・関心を高め、主体的な学習を促すことが期待できます。

吉 中 委 員 見開きで見ると迫力があります。ページ内に小さく写真で載っているよりも、生徒は本物に近い感覚で作品を鑑賞できるのではないかと思います。

佐々木委員 美術の授業を思い出してみると、絵画の技法とか彫刻とか、いわゆる表現の在り方について色々と学んだ記憶が強いです。しかし、自分から表現していくだけでは不十分で、プロの作品を見て多くを学ぶ、つまり鑑賞する目も磨いていくことも必要で、二つのバランスが大切な教科だと思っています。選定委員からは、先ほど「表現と鑑賞の関連を図る」と説明されたわけですが、その具体について教えてください。

白 井 校 長 表現と鑑賞の関連を図った学習活動の具体例を示します。光村の第1学年32ページを御覧ください。「材料に命を吹き込む」という題材が示されています。ページの上半分を御覧ください。オレンジで「鑑賞」と示されています。生徒は、まず教科書に掲載されている作品を鑑賞し、材料の特徴がどのように生かされているか、それぞれの作品における工夫を見付けます。その後、ページ下半分、青の「表現」の部分になりますが、生徒は上の鑑賞で得た気付きを生かしながら、作品づくりを行います。

このように、鑑賞することで表現が、表現することで鑑賞がより良いものになっていきます。また、教科書に「表現」「鑑賞」とその内容が表記されていることで、生徒が学習の流れをイメージし、相互の関連が図りやすくなっています。

佐々木委員 二つの領域を行ったり来たりしながら学んでいくことがよく分かりました。ここまで説明を聞いてみると、美術は光村に良い特徴が多いと感じます。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。  
ここまで協議を踏まると、美術については光村図書の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、美術については光村図書の教科用図書を採択することに決定されました。

ここで休憩を取ります。

再開は、15時20分です。

(休憩)

教育長 続いて、保健体育について選定委員からの説明をお願いします。

工藤校長 それでは、保健体育の総合所見について報告を行います。資料は12ページです。

保健体育は、東書、大日本、大修館、学研の4者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

どの者も、各章で学ぶ学習内容に加えて、小学校で学習したこと、高校で学習することが示されています。

中でも、東書と大修館は、導入部分に日常経験や小学校で学習したこと、あるいはこれまでの経験や学習を基にした課題が提示され、生徒が自分事として捉えやすくなる工夫がされており、知識及び技能の習得に効果的であると考えます。

また、学研は、1時間の学習を通して身に付けることが提示されており、生徒が学習の見通しを持って取り組むことができるようになっていることから、知識及び技能の習得につながるものと考えます。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

学習指導要領では、健康に関わる事象や健康情報などから自他の課題を発見し、より良い解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができるようになることが思考力、判断力、表現力等の育成につながるものであると示されています。どの者も、学習したことを活用し、思考する活動が設定されています。

中でも、東書、学研は、事例が挙げられており、生徒が具体的な場面をイメージしながら学習したことを活用して考えることができ、生徒の思考を促しやすいと考えます。

三つ目は、観点4「内容の構成・配列・分量」についてです。

児童生徒一人一人の個に応じた指導を充実する観点から、どの者も、発展的な内容の資料が掲載されています。

中でも、東書は、発展的な資料が豊富に掲載されており、学習内容の理解をより深めるよう工夫されています。大日本は、本編と関連させた発展的な資料が単元内で掲載されており、生徒が関連付けて考えができるよう工夫されています。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、保健体育の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

大之木委員 観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてですが、保健体育の学習を通して身に付けさせたい思考力、判断力、表現力等とは、どのようなものですか。

工 藤 校 長 中学校学習指導要領解説保健体育編には、保健分野の思考力、判断力、表現力等に関する資質・能力の育成についての目標として、健康についての自他の課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うと示されています。この目標は、生徒が健康に関わる事象や健康情報などから自他の課題を発見し、より良い解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができるようになりますことを目指したものです。

大之木委員 スマホ依存症など、最近の時代背景ならではの健康問題も増えていると思います。今、説明いただいたように、自分事として捉えて、どうすればよいかしっかり考えさせていくことが大切であると考えます。

佐々木委員 観点1「知識及び技能の習得」に生徒が学習内容を自分事として捉えやすいとありますが、教科書を使ってもう少し詳しく説明してください。

工 藤 校 長 東書と大修館を御準備ください。まず、東書の56・57ページをお開きください。「見つける」として、「自分が行ってきた運動やスポーツを思い出してみましょう」と、日常経験や小学校で学習したことなどを基に、学習課題をつかむ工夫がされています。

次に、大修館の6・7ページをお開きください。「課題をつかむ」として、「あなたや、あなたのまわりの人はどんな運動やスポーツをおこなっているでしょうか。意見を出しあってみよう」と、これまでの経験や学習を思い出しながら学習を進める工夫がされています。

このように、日常経験などを基にした課題設定により、生徒が学習内容を自分事として捉えやすい工夫がなされています。

佐々木委員 今、東書と大修館と双方の良い点を御紹介いただきましたが、先日の選定委員会や、今日のここまで説明を聞きますと、東書に良い特徴が多いという印象です。

教 育 長 ほかに御意見はありませんか。  
(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、保健体育については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、保健体育については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、技術・家庭（技術分野）について選定委員からの説明をお願いしま

す。

松 田 校 長

技術分野の総合所見について報告を行います。資料は13ページです。

技術分野は、東書、教図、開隆堂の3者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる二つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

技術の概念の理解を促すために、どの者も、各内容における学習の振り返りで、学習した内容と社会との関わりについて考えさせる記述があります。

中でも、開隆堂は、これまでの学習を具体的に振り返ったり、具体的な制約条件を示した上で技術の見方・考え方について確認したりすることを促す記述や図等も掲載されており、生徒の技術の概念の理解を促しやすいと考えます。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

技術分野では、技術の学習の最初にガイダンスの授業を行うようになっています。各者とも、ガイダンスにおいて、身近な製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性から折り合いを付けて最適化されていることに気付かせるような記載がされています。

中でも、東書と開隆堂は、AからDの各内容の冒頭において、技術を最適化する際に着目する視点について、具体例を取り上げて掲載されており、各内容の学習において、繰り返し、見方・考え方を働かせることができるように工夫されています。さらに、開隆堂には、願いや要求などについて、どのように最適化されているのかといった技術の最適化の具体例も示されているため、生徒に、技術の見方・考え方について、イメージを持たせやすく、思考力、判断力、表現力等の育成に効果が期待できます。

また、技術では、思考力、判断力、表現力等を育成するために、生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだし、課題を設定して解決策を構想し、具体化した上で、実践を評価・改善する問題解決の学習過程が大切になります。各者とも、実習例において、問題の解決の学習過程の具体例が掲載されています。

中でも、開隆堂は、内容ごとに問題解決の手順を示した見開きのページが設けられており、「実習例」も同様の手順で示すことで、生徒に、問題解決の具体的な流れについて、イメージを持たせやすくなっていると考えます。

以上述べましたように、開隆堂に良い特徴が多いと考えます。

以上で、技術分野の説明を終わります。

教 育 長

少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる。)

教 育 長

御質疑・御意見はありませんか。

大 之 木 委 員

選定委員の説明の中で、観点1について、各者とも、「技術の概念の理解を促すために、学習した内容と社会との関わりについて考えさせる記述がある」とありました。もう少し詳しく教えてください。

松 田 校 長

教科書を使って、各者の「学習した内容と社会との関わりについて考えさせる記述」の例を紹介します。

まず、東書の78・79ページを御覧ください。東書には「材料と加工の技術の最適化」という項目があり、これまでの学習を振り返り、自分の問題解決と社会に

おける問題解決の共通点と違いについて考えることを促す記述や、生徒のつぶやき等が掲載されています。また、79ページに「私たちの問題解決」と「社会における問題解決」が並べて掲載されており、共通点や違いを比較することができます。そして、その後80ページから81ページに、技術の評価、選択、管理、運用について考えさせるような内容が掲載されています。

次に、教図の66・67ページを御覧ください。「技術のプラス面とマイナス面」という項目の中に、これまでの学習を振り返り、技術の役割や影響について考えたり、技術のプラス面とマイナス面を見極めたりすることを促す記述があります。また、66ページの上「見つける」というコーナーに、生徒のつぶやき等が掲載されています。

次に、開隆堂の98・99ページを御覧ください。98ページの中ほど「材料と加工の技術の学習のふりかえり」や99ページの「材料と加工の技術の学習と社会とのつながり」のように、各内容において技術の学習を振り返らせたり、技術の学習と社会とのつながりを考えさせたりする項目があります。そして、その後100ページと101ページに技術の評価、適切な活用、選択、維持、管理について考えさせる内容となっています。

開隆堂には、99ページの図3「問題解決の過程と材料と加工の技術の見方・考え方」に社会的な制約条件として「願いや要求」、自然的な制約条件として「科学の考え方」が掲載されています。この様々な制約条件をマルチラックを例に「どのように最適化されているか」が示してあります。そのため、生徒が実際に製作した作品を基に技術の見方・考え方を確認することができ、技術の概念の理解を促しやすいと考えます。

大之木委員　　具体で説明していただき、よく分かりました。ありがとうございました。

吉中委員　　観点2の説明にあった、「見方・考え方を働かせるための工夫」について、具体例を示してもう少し詳しく教えてください。

松田校長　　どの者にも、技術の見方・考え方に関するガイダンスのページがあり、各者とも、技術の見方・考え方に対する工夫が見られます。

その中でも、特徴のある東書と開隆堂について具体的に説明します。

まず、東書の26・27ページを御覧ください。「技術の見方・考え方」という項目において「かまどベンチ」という具体例を取り上げ、「環境への負荷は少ないかな?」「材料や構造の工夫は?」「デザインは?」といった吹き出しを用いて、生徒に問い合わせをする記述があり、生徒に「見方・考え方」を働かせて考えさせるような内容となっています。

次に、開隆堂の27ページを御覧ください。ページの真ん中に「見方・考え方、製品を見てみよう」という項目があり、雑誌ボードの技術の仕組みの具体例が掲載されています。「願いや要求」には、「雑誌がきれいに見えるように展示したい」「雑誌ボードを安定させたい」といった具体例があり、その下の部分には「雑誌の表紙を並べて見せることができる大きさにして、見やすくなるように斜めに傾けている」「雑誌ボードが倒れないように後ろに傾けて支えている」といった、願いや要求に対して、どのように最適化されているのかという具体例も示されています。

そして、26ページを御覧ください。「身の回りの材料と加工の技術に気づこ

う」という項目において、「水筒」を例として取り上げ、社会からの要求を基に水筒が作られ、より便利にしたいという要求から、その当時の技術を最適化しながら進歩してきていることを気付かせるような工夫があります。27ページの下の部分にも、鉄橋や消しゴムについての最適化の例も示しています。

開隆堂には、このような具体例が、AからD全ての内容について、学習のはじめに示されていることから、生徒に、技術の見方・考え方について、イメージを持たせた上で学習を進めることができるので、思考力、判断力、表現力等の育成に効果が期待できると考えます。

吉中委員 今、世の中にある様々な技術は、「もっと便利にしたい」といった誰かの願いから始まったものだと思います。そう考えますと、開隆堂にある「願いや要求」というのは、これから社会に進んでいく中学生が技術を学ぶ上で大切な視点になってくると感じました。技術は開隆堂が良いと思います。

教育長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、技術・家庭（技術分野）については開隆堂の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、技術・家庭（技術分野）については開隆堂の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、技術・家庭（家庭分野）について選定委員からの説明をお願いします。

小方校長 それでは、家庭分野の総合所見について報告を行います。資料は14ページです。

家庭分野は、東書、教図、開隆堂の3者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

現行の学習指導要領では、基礎的・基本的な知識と技能の習得の重要性や実践的・体験的な学習を通して資質・能力を育成することの重要性が述べられています。基礎的・基本的な知識と技能の習得を図るための工夫としては、どの者も、安全に実習に取り組むためのポイントと調理実習例が示されています。中でも、東書と開隆堂は、調理手順が横方向に示されており、調理操作が具体的で、調理の流れや方法が理解しやすいという特徴があります。

さらに、東書は魚・肉・野菜の調理において、開隆堂は魚・肉の調理において、組み合わせる料理の例が掲載されており、一食分の献立をイメージしやすく、調理につなげる工夫があります。生徒自身で一食分として作ることもでき、調理の知識・技能の習得に役立つと考えます。

二つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

どの者も、編末や章末の「学習のまとめ」や「学習のふり返り」で、思考・判断・表現に関わる問い合わせを掲載しています。また、「生活の課題と実践」の進め方や流れが掲載されています。

中でも、東書と開隆堂は、まとめと発表の仕方として、レポートやポスター、新聞形式等の活用の具体例を示しています。思考したことや実践したこと、次への課題等を整理しながら表現するいろいろな方法を学習することができると考えます。

さらに、東書は、生徒の作品例が説明や発表例とともに掲載されており、実践やまとめ方のイメージを持たせやすい工夫があります。

三つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

どの者も、「生活に生かそう」や「ふり返る」「やってみよう」などといった振り返りや自己評価、生活の中の具体的な出来事から課題を考える学習や活動が設定されています。中でも、東書は、「生活に生かそう」「まとめよう」は節の終わりに設定されており、学習した内容を主体的に実践するための工夫があります。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、家庭分野の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。  
(しばらく時間をとる。)

教 育 長 御質疑・御意見はありませんか。

佐々木委員 観点1の「知識及び技能の習得」の中で、東書と開隆堂は、調理操作が具体的で、調理の流れや方法を理解しやすいと説明がありました、具体的なところを教えてください。

小 方 校 長 それでは、その特徴の具体例について、教科書を使って説明します。

まず、開隆堂を使って御説明します。128ページをお開きください。しょうが焼きが扱われていますが、しょうが汁を作る、漬ける等、具体的な調理手順が示されています。また、ページ下段に各手順のポイントがまとめられています。

続いて、東書の教科書を御準備ください。例えば、82ページを開いてください。豚肉のしょうが焼きでは、調味料を混ぜる、つけ汁に漬け込むといったように、調理操作として「何をどうする」が分かりやすく示されています。

このような工夫により、知識及び技能の習得が図られると考えます。

佐々木委員 まだ中学生ですから、料理の経験があまりない子供も多いと思います。そうした生徒にとっても、手順を読めば料理が作れるよう丁寧に書かれている教科書は良いと思います。

吉 中 委 員 観点3の「主体的に学習に取り組む工夫」の中で、東書は「生活に生かそう」「まとめよう」が節の終わりに設定されており、学習した内容を主体的に実践するための工夫があると説明がありましたが、具体的に教えてください。

小 方 校 長 それでは、その特徴の具体例について、教科書を使って説明します。東書の教科書を御準備ください。

例えば、31ページ欄外の「生活に生かそう」では、「食事の役割を振り返り、これから食生活で特に大切にしたいことを書きましょう。」と示されており、生徒がこの節で学んだ「食事の役割」を思い出し、自らの生活に照らし合わせて考えることを促す工夫があります。また、35ページを御覧ください。欄外の「まとめよう」では、「五大栄養素について振り返り、なぜそれらの栄養素をとる必要があるのか、理由を説明しましょう。」と示され、学んだことを自らの言葉で

説明させる工夫があります。

どちらも「どんな視点で何を考えればよいか」が具体的に示されており、生徒の主体的な学びにつながりやすいと考えます。

吉中委員 ただ漠然とまとめるよりも、具体的な問い合わせがある方が考えるヒントになると思います。先ほどの調理場面のような技能的なページの工夫にしても、今のまとめの工夫にしても、東書に良い特徴が多いと感じました。

教育長 ほかに御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。

ここまで協議を踏まえると、技術・家庭（家庭分野）については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、技術・家庭（家庭分野）については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、英語について選定委員からの説明をお願いします。

坂田校長 それでは、英語の総合所見について報告を行います。資料は15ページです。

英語は、東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館の6者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「思考力、判断力、表現力等の育成」についてです。

学習指導要領解説において、英語科における思考力、判断力、表現力等の育成のためには、①設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する、②目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる、③目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う、④言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う、といった流れの中で、学んだことの意味付けを行ったり、既得の知識や経験と新たに得られた知識を言語活動で活用したりすることが大切とされています。

この点において、各者とも、複数単元の学習を踏まえ、それまでの学習を生かす複数の領域を関連付けた統合的な言語活動が設定され、目的や場面、状況等に応じて、既存の知識や体験などと関連付けながら、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる工夫があります。

中でも、東書、開隆堂、啓林館は、終末の言語活動に向けて、生徒が情報等を理解したり、その情報を整理しながら考えを形成したりする過程において、それぞれ具体例が示されているため、どのように考えたり、整理したりすればよいか、生徒がイメージを持って取り組みやすいと考えます。

さらに、東書は、導入で動画視聴によるコミュニケーションの目的や場面、状況等を把握する活動が設定されており、明確に相手意識や目的意識を持たせやすくなっています。また、開隆堂は、終末に、言語面・内容面について学習のまとめや振り返りを記述させるコーナーがあり、思考力、判断力、表現力等の育成に高い効果が期待できると考えます。

二つ目は、観点4「内容の構成・配列・分量」についてです。

各者とも、導入期において、小学校外国語との接続を図った単元等が配列されています。

中でも、東書、光村、啓林館は、音声と文字との関係を段階的に学習できる活動が設定されており、単語を読んだり、書いたりする基礎的な力を付けるための工夫があります。

三つ目は、観点5「内容の表現・表記」についてです。

学習指導要領において、「学年ごとの目標を適切に定め、3学年間を通じて外国語科の目標の実現を図るようにすること。」と示されています。この点について、各者とも、学習指導要領が示す領域別の目標に基づき、当該学年の領域別学習到達目標を示されています。

中でも、東書、三省堂、教出は、当該学年のみならず全学年の領域別学習到達目標が示されています。また、光村は、当該学年及び次学年の学習到達目標が示されています。これは、生徒自身が学びのつながりを意識しながら、中学校3年間を通じて、一貫した目標を持って英語学習に取り組むことができる工夫であると考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、英語の説明を終わります。

教育長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教育長 御質疑・御意見はありませんか

大之木委員 観点2において、「思考力、判断力、表現力等の育成」について、終末の活動に向けた学習過程において具体例が示されていると説明がありました。教科書を使って、もう少し詳しく説明してください。

坂田校長 東書、開隆堂、啓林館について御説明しますので、各者とも2年生の教科書を御準備ください。

まず、東書の40・41ページをお開きください。40ページには、お好み焼きについて、特徴、好きな理由、相手の立場に立った情報について、例を参考にして、情報をまとめることができるようになっています。また、41ページには、話すためのメモの例、そしてその下には発表の仕方の例が示されています。

次に、開隆堂の42・43ページをお開きください。42ページには、CMを作成するための台本の例が示されています。また、43ページには、売り出したいラーメンについて整理するために、売り出し中のラーメンのCMの情報が例として示されています。

次に、啓林館の44・45ページをお開きください。44ページには、ShoとHinaが書いた紹介文が示されており、45ページには、自分がしたい物事について、マッピングの例が示されています。このように、3者とも、複数の具体例が示されています。

東書の教科書にお戻りください。東書では、40ページの導入場面において、動画視聴により、コミュニケーションの目的・場面・状況等を把握しやすく、そのことで、明確に相手意識や目的意識を持たせる工夫がされています。このことは、思考力、判断力、表現力等の育成に高い効果が期待できると考えます。

また、開隆堂にお戻りいただき、45ページを御覧ください。振り返りにおい

て、自分の言葉で記述させるようになっています。生徒はこうした学習活動を通して、自らの学習を自覚的に捉えることで、思考力、判断力、表現力等の育成につながると考えます。

大之木委員 分かりました。いくら英単語やフレーズを多く覚えても、誰に伝えるかとか、何のために伝えるかといったことが明確でないと、日本語もそうだと思いますが、英語をしゃべれるようにはなりにくいと思います。今、紹介されたような工夫はとても大切だと思います。

佐々木委員 観点5「内容の表現・表記」について、領域別学習到達目標などあるのですが、各者ともに同じような特徴に思えます。

各者の特徴を、教科書を使ってもう少し詳しく説明してください。

坂田校長 東書、三省堂、教出、光村について御説明しますので、各者とも1年生の教科書を御準備ください。

まず、東書の巻末をお開きください。学年ごとに、学年末の領域別学習到達目標が示されるとともに、当該学年では、三つのステージに分かれ、領域別の学習目標を達成できたかどうか確認できるようになっています。さらに、小学校の学習についても示されています。ちなみに、3年生の教科書には、高校の学習についても示されており、生徒が学びのつながりを意識することができるようになっています。

次に、三省堂の巻末資料50・51ページをお開きください。上段に、3年間の学習の中で、できるようになってほしいことのリストが示されています。また、下段には、当該学年の学びを振り返ることができるようになっています。

次に、教出の巻末をお開きください。上段に、当該学年の学習到達目標が示されており、矢印で下段の2年学習到達目標へ、さらに、矢印で3年学習到達目標へのつながりを示しています。

最後に、光村の巻末をお開きください。上段に、当該学年の学習到達目標が示されており、下段には次学年の学習到達目標が示されています。また、当該学年の領域別学習到達目標が設定されるとともに、複数単元終了後や学年末に、領域別の学習到達目標を達成できたかどうか確認できるようになっています。

このように、生徒が学びのつながりを意識し、一貫した目標を持って学習に取り組むことができる工夫がなされています。

佐々木委員 その学年で何ができるようになればよいのかが明確になっていると、ゴールに向かって前向きに学習できる気がします。東書には小学校や高校の学習も示されていると聞きましたが、こうした工夫は、小中一貫教育に取り組んでいる呉市になじむものだと感じました。ここまで説明などを聞き、東書が優れていると思います。

教育長 ほかに御意見はありませんか。  
(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。  
ここまで協議を踏まえると、英語については東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか  
(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、英語については東京書籍の教科用図書を採択するこ

とに決定されました。

続いて、道徳について選定委員からの説明をお願いします。

子川校長

それでは、道徳の総合所見について報告を行います。資料は16ページです。

道徳は、東書、教出、光村、日文、学研、あか図、日科の7者から発行されています。

本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「知識及び技能の習得」についてです。

どの者も、道徳科の学び方等について、オリエンテーションのページが設けられ、学習の流れがイラスト等で分かりやすく説明してあります。中でも、日文は「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の三つの授業の流れを示した後、さらに、この三つの具体的な学び方がミニ教材を使って分かりやすく示しており、道徳科の学びの見通しを持つことができるよう工夫されており、考え、議論する道徳の充実につながると考えます。

二つ目は、観点3「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

全者とも、問題解決的な学習ができるように、教材の終わりに学習過程の例が示され、道徳科の目標にある「自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考える」ことにつなげる工夫がされています。中でも、東書、日文、学研、あか図は、生徒が主体的に学ぶ手助けとして、目次や該当ページにマークを付けて分かりやすく示されています。さらに、日文は、学習過程の例の後に、話し合いを更に深めるための「学びを深めよう」に「学びを深めるヒント」が合わせて掲載されており、生徒が教材の中で起こっている道徳的な問題を見付け、その解決に向けて主体的に考えたり、道徳的価値について多面的・多角的に考えを深めたりするようになっています。

三つ目は、観点4「内容の構成・配列・分量」についてです。

現代的な課題である「いじめの問題」については、全者とも、いじめの問題をテーマとした教材が配置されています。中でも、東書、教出、光村、日文、あか図は、いじめの問題について一定期間に集中的に学ぶことができるよう、複数教材が一まとめにユニット化されています。

さらに、日文は、1年生には3か所、2、3年生には2か所と年間複数配置されており、これらは「呉市いじめ撲滅キャンペーン」の時期に合わせて授業を配置することができるため、カリキュラムマネジメントの視点においても、いじめの未然防止等においても、大変効果的だと考えます。

以上述べましたように、日文に良い特徴が多いと考えます。

以上で、道徳の説明を終わります。

教育長

少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教育長

御質疑・御意見はありませんか。

吉中委員

観点1において、道徳科の学び方等についてオリエンテーションのページが設けられていると説明がありました、どのように示されているのか、教科書を使って説明してください。

子川校長

どの者も、道徳科の学習の流れ等が道徳科の授業開きで活用できるように設け

られています。教科書で御説明しますので、教出の第1学年5ページをお開きください。

「どうやって学ぶの？」にありますとおり、「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」の四つの流れを示し、どのように考え、話し合っているかについて、イラストや吹き出しで分かりやすく示されています。

次に、日文の第1学年5ページをお開きください。日文も「どうやって学ぶの？」にありますとおり、「気づく」「考える・議論する・深める」「見つめる・生かす」の学習のステップが、各教材のどこにあるかが分かるように紙面を使って示されています。

さらに、次の6・7ページをお開きください。ここでは、ミニ教材を用いて先ほどの学習の流れが理解できるようになっており、授業開きで活用することで、道徳科の学びの見通しを持つことができるようになっています。

吉中委員 今、紹介していただいたのは、いわゆる「授業開き」という時間の工夫だと思います。1年の道徳の始まりの時間で、生徒が「考えてみたい」「考えを交流してみたい」と前向きな気持ちになれるような入り方をすることが大切だと思いました。日文のミニ教材は面白い工夫だと思いました。

佐々木委員 観点3「主体的に学習に取り組む工夫」について、先ほど、目次や該当ページにマークを付けて分かりやすく示されると説明がありましたが、教科書を使ってもう少し詳しく説明してください。

子川校長 お手元に、1年生の東書、日文、学研、あか図を御準備ください。

東書は38ページ、学研は25ページ、あか図は34ページをお開きください。東書とあか図はプラスのマーク、学研は「深めよう」のマークとともに学習過程の例が、どの者にも示されています。

次に、日文の88ページをお開きください。これまでの3者と同様に「学びを深めよう」のマークとともに学習過程の例が示されています。また、隣の89ページには「学びを深めるヒント」や77ページにお戻りいただき、「視野を広げて」のページが設定されております。これら「学びを深めるヒント」や「視野を広げて」のページが複数設定されており、主体的な学びにつながる工夫となっています。

佐々木委員 意見ですが、昨年9月に、いじめ問題等事案に関する調査報告書を受けて、各学校で再発防止策に取り組んでいるところだと思います。再発防止策には、命を大切にする教育にも取り組むことが示されていました。道徳科においても、この「命を大切にする教育」の観点を大切にした授業をしていただきたいと思っています。

大之木委員 私も、同じように思います。「命を大切にする教育」はとても大切なことです。ここまで説明を聞いてみると、各者、いろいろな工夫はあり、すばらしいと思いますが、選定委員が言うように、日文に良い特徴が多いのではないかと思います。

教育長 ほかに御意見はありませんか。  
(なしの声)

教育長 御発言なしということで、お諮りします。  
ここまで協議を踏まえると、道徳については日本文教出版の教科用図書を採

択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、道徳については日本文教出版の教科用図書を採択することに決定されました。

それでは、以上で、令和7年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））につきましては、全て採択が決定しました。

採択は以上ですが、委員さんから、全体を通して御意見等はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 以上で臨時会を閉会します。

(16:45)

上記のとおり、会議の次第を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

( 教育長 寺 本 有 伸)

( 委 員 吉 中 由美子)

( 委 員 大之木 小兵衛)

(令和6年8月23日臨時会)